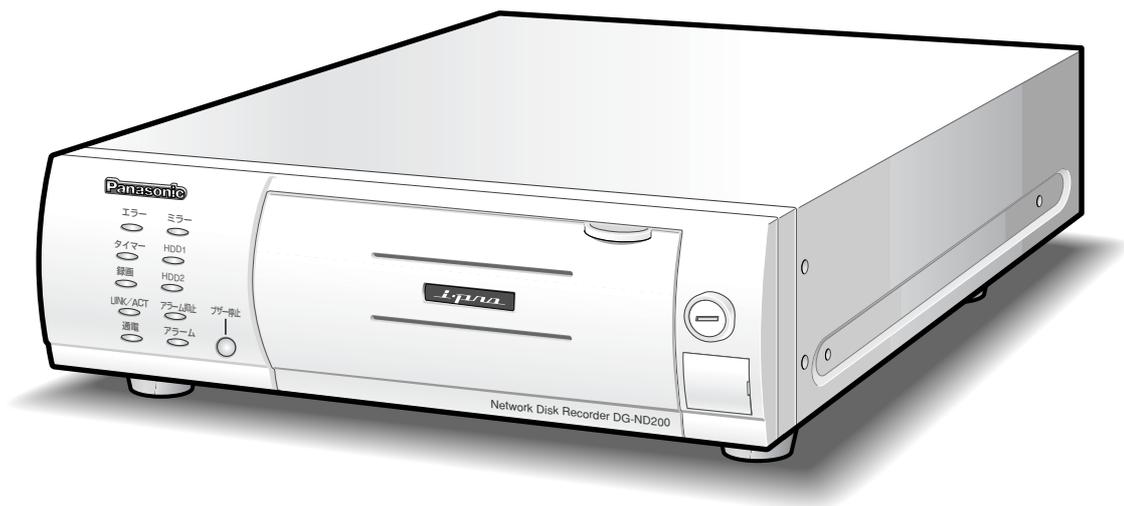


Panasonic®

取扱説明書 設定編

ネットワークディスクレコーダー

品番 DG-ND200



はじめに

商品概要

本機（DG-ND200）は、ネットワークカメラで監視している画像・音声を録画・再生するネットワークディスクレコーダーです。

本機は、ビデオテープの代わりにパーソナルコンピューター（以下、PC）などに採用されている記録装置であるハードディスクドライブ（以下、HDD）を使用した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がありません。

本機はネットワークを経由して、16台までのカメラを接続し録画できます。また、本機の設定や操作はネットワークに接続されたPCのウェブブラウザから行います。本機へは最大4ウェブブラウザから同時に接続し、設定や操作を行うことができます。

商品の特長

多彩な録画録音機能

●マルチレコーディング機能

カメラの場所によって録画レートを変えて録画したい場合など、運用形態が異なる環境でも、本機1台で効率的に運用できます。

●スケジュール機能

指定した曜日の指定した時間帯に自動で録画を行うよう設定できます。さらに、時間帯ごとに録画レートを変えることができます。

●緊急録画機能

緊急事態などが発生したときに、外部に設置したスイッチ操作で、緊急録画モードに切り替えて録画します。

●外部タイマー録画機能

タイマースイッチなどの外部タイマーを利用して自動的に録画します。

●イベント録画機能

センサーからの信号入力など、イベント発生時に録画時の録画レートを高いレートに切り替えて録画することができます。

●音声録音機能

画像と同時に音声を録音できます。

リムーバブルHDD採用の特長

2.5インチリムーバブルHDDを採用し、前面から取り付け・取り外しができます。

HDDを2台搭載している場合は、録画を中断することなくHDDの交換ができます。

HDD交換・保守時間を従来より大幅に短縮できます。

画像のダウンロード／送信

ウェブブラウザに表示している画像をPCのHDDにダウンロード（保存）できます。FTPサーバーを設定すれば、指定したFTPサーバーに画像を定期的送信できます。また、イベント発生時にアラーム発生場所の画像を送信することもできます。

イベント通知機能

イベントが発生したとき、指定した電子メールアドレスに電子メールを送信して通知することができます。電子メールを送信する際、アラーム発生場所の画像を添付して送信することもできます。

安心のセキュリティ機能

- ユーザー認証機能の搭載により、ユーザー名とパスワードにて操作できる機能を限定できます。また、ユーザーは32ユーザーまで登録できます。
- また、ホスト認証機能も搭載しており、登録されていないIPアドレスからは本機を操作できないように設定できます。
- 万が一、1台のHDDが故障したときでも、もう1台のHDDでは録画を継続するミラーリング機能を搭載しています。（HDD2台搭載時）

取扱説明書について

取扱説明書は、本書と取扱説明書 設置工事編、取扱説明書 操作編（PDFファイル）の3部構成になっています。本書は本機をネットワークを経由してPCから操作するにあたって必要な機能の設定方法や、機器の接続方法などについて工事業者向けに説明しています。

本機のネットワークに関する設定は、本機が接続される社内LANやサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

本機の前面にあるボタンで直接本機を操作できる機能や操作方法については、付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。

PCからの操作方法については、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。

PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のND200とはDG-ND200をあらわしています。

また、専用ソフトウェアおよびカメラの対応機種、バージョンについては付属のCD-ROMの「readme.txt」をお読みください。

必要なPCの環境

CPU	Pentium® 4 3.0 GHz以上
メモリー	512 MB以上（ただし、Microsoft® Windows Vista®をお使いの場合は1 GB以上）
ネットワーク機能	10 BASE-Tまたは100 BASE-TX 1ポート
サウンド機能	サウンドカード（音声機能を使用する場合）
画像表示機能	解像度：1 024×768ピクセル以上 発色：True Color 24ビット以上
対応OS	Microsoft® Windows Vista® 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版※ Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版※
ウェブブラウザ	Windows® Internet Explorer® 7.0 日本語版 ※対応OSがMicrosoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版の場合、Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2日本語版
その他	CD-ROMドライブ（取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため） DirectX® 9.0c以上 Adobe® Reader®（取扱説明書を閲覧するため）

メモ

- 推奨以外の環境のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生する恐れがあります。
- サウンドカードが搭載されていないPCでは、音声を再生することはできません。また、ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。
- Microsoft® Windows Vista®を使用する場合に必要なPC環境や注意事項など、詳しくは「Vista使用時の注意事項」（PDFファイル）をお読みください。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vistaと表記しています。

Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版をWindows XPと表記しています。

用語について

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

録画レート（ips,I-Frame）

録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。ipsは1秒間の記録コマ数をあらわします。数字が大きいくほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。I-FrameはMPEG4を使用するときカメラ側で設定されているリフレッシュ周期のことをあらわします。

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるドット数で表し、水平640ドット、垂直480ドットの場合、640×480と表記します。

M-JPEG

本機からの要求により、カメラから連続的にJPEG画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を1枚1枚取得する方式に比べ、ネットワークの負荷は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動します。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

マニュアル録画

[録画] ボタン、[録画停止] ボタンをクリックして手動で録画を開始・終了する機能です。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するポスト録画があります。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画を行う機能です。

外部録画モード

本機に接続した外部スイッチを使用して、タイムテーブルを切り替える機能です。外部スイッチがONの間、外部録画用に設定したタイムテーブルで動作します。

SDメモリー録画、SDメモリーデータ

SDメモリー録画とは、本機に設定されているタイムテーブルの時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存しておくというカメラ側の機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを言います。SDメモリーデータの録画時刻はカメラが持つ時刻になります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

イベント

本機が特別な動作（アラーム動作）を行うきっかけとなる事象をあらわします。イベントには、端子アラーム・コマンドアラーム・サイトアラームがあります。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番で自動的に切り替えて表示することです。本機は、ライブ画像を表示しているときにシーケンスを行うことができます。

電子ズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能は表示しているPCで画像の拡大処理を行います。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、明るさ（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オート機能（カメラの自動回転など）操作を行うことです。

システムの管理者

本機の設置／運用に関する設定責任および権限を持った人のことです。

ライトプロテクトスイッチ

HDDに書き込みできないようにロックするかどうかを設定するスイッチです。

ライトプロテクトスイッチは、HDDを外装保護するプラスチックケースにあります。

もくじ

はじめに

はじめに

商品概要	2
商品の特長	2
取扱説明書について	3
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について	4
略称について	4
用語について.....	4

準備

準備

運用までの流れ.....	8
PCのネットワーク設定を行う	9
本機のネットワークセキュリティについて ..	12
本機に装備されているセキュリティ機能	12
セキュリティ強化のために	12
操作画面を表示する	13
操作画面について.....	15
トップページ	15
[コントロール] ボタン	16
[カメラ選択] ボタン	17
[セットアップ] ボタン	18
ステータス表示部	19
再生位置操作部	20
[HDD] タブ	20
[カメラ] タブ	22

設定

設定

セットアップメニュー	23
メニュー一覧	23
基本的な操作のしかた.....	26
必要最低限の設定を行う [簡単設定]	28
システムに関する設定 [システム]	30
システムの基本設定を行う [基本設定]	30
日付時刻を設定する [日付時刻設定]	31
緊急録画に関する設定 [緊急録画]	33
緊急録画に関する設定を行う [緊急録画設定]	33

イベントに関する設定 [イベント動作]	35
アラーム動作に関する基本設定を行う [基本設定]	35
端子アラームに関する設定を行う [端子アラーム設定]	36
サイトアラームに関する設定を行う [サイトアラーム設定]	37
録画/アラーム動作スケジュールに関する設定 [スケジュール]	38
スケジュール作成の流れ	38
プログラムを作成する [プログラム]	38
時間帯を設定し、プログラムを割り当てる [タイムテーブル]	43
特定日のタイムテーブルを設定する [スペシャルデー]	45
カメラに関する設定 [カメラ]	46
カメラのネットワークに関する設定を行う [NWカメラ設定]	46
カメラのグループタイトルを設定する [グループ設定]	50
カメラのシーケンス動作を設定する [シーケンス設定]	51
他の機器との通信に関する設定 [通信]	52
ネットワークに関する基本設定を行う [基本設定]	52
DDNSに関する基本設定を行う [DDNS設定]	54
プロキシサーバーに関する基本設定を行う [プロキシ設定]	55
SNMPネットワークに関する設定を行う [SNMP設定]	56
ネットワークの時刻合わせに関する設定を行う [NTP設定]	57
FTPサーバーに関する設定を行う [FTP設定]	58
メール通知に関する設定を行う [メール設定]	60
アラームの独自通知設定を行う [独自アラーム通知]	61
認証に関する設定 [ユーザー管理]	62
ユーザー認証とホスト認証を行うかどうかを設定する [基本設定]	62
登録した管理者情報を修正する [管理者設定]	63
本機を使用するユーザーを登録・修正/削除する [ユーザー設定]	64
本機にアクセスできるPC (ホスト) を登録・修正/削除する [ホスト設定]	65
操作レベルを設定する [レベル設定]	67
操作の可否を設定できる機能について	68
メンテナンスに関する設定 [メンテナンス]	69
バージョン情報などを確認する [本体情報]	69
ディスクの残容量を確認する [ディスク情報]	70
本機に設定しているカメラのネットワーク状況を確認する [ネットワーク情報]	70
ディスクの残容量、画像データに関する動作を設定する [ディスク設定]	71
セットアップメニューの設定内容をセーブ/ロード/初期化する [設定データ管理]	72
ディスクコンフィグに関する設定 [コンフィグ]	73
本機のフォーマットボタンを有効にするかどうかを設定する	73
フォーマットを行う	74

運用までの流れ

本機を運用するまでの流れは以下のとおりです。

1

接続

接続のしかたについては付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。

2

起動

本機の電源を入れます。
詳しくは付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。

3

PCのネットワーク設定
(9ページ)

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。

4

HDDのフォーマット
(74ページ)

ディスクコンフィグを表示してHDDをフォーマットします。

前面パネルからのHDDのフォーマットに関しては取扱説明書操作編 (PDFファイル) をお読みください。

5

カメラのネットワーク設定
(46ページ)

カメラのネットワーク設定を行います。

6

セットアップ
(23~72ページ)

運用に必要なセットアップメニューを設定します。

運用開始

PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。

本機（IPアドレスがデフォルト設定）にアクセスするには、PCのIPアドレスを「192.168.0.XX（XXは1と250を除く2～254のうちいずれか）」に設定する必要があります。

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス : 192.168.0.2～192.168.0.249、192.168.0.251～192.168.0.254

サブネットマスク : 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス : 192.168.0.1

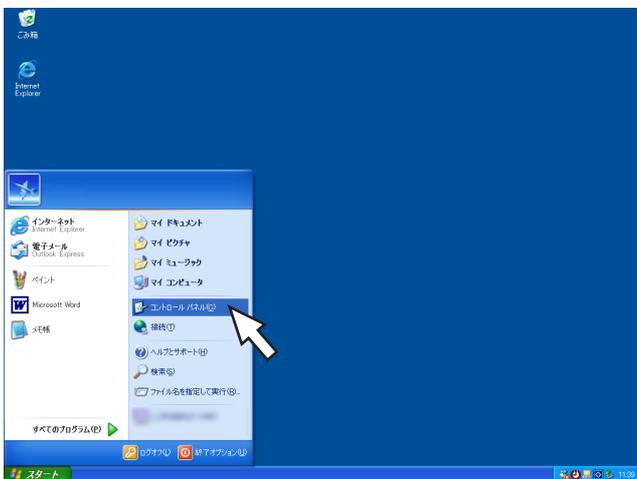
上記以外に設定されている場合、PCのネットワークの設定を行ってください。

また、カメラのネットワーク設定はセットアップメニュー [カメラ] - [NWカメラ設定] で行います。

本書では、Windows XPの標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

画面1

PCを起動した直後の画面から始めます。



STEP1

スタート画面からコントロールパネルを選択します。

!!重要!!

- 「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

PCのネットワーク設定を行う (つづき)

画面2

コントロールパネルが表示されます。



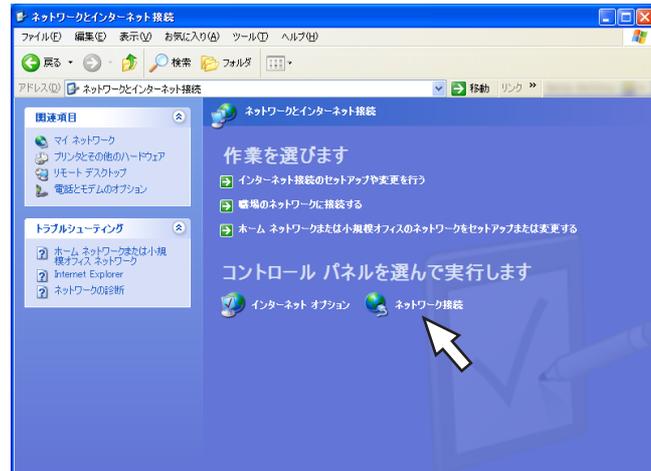
準備

STEP2

「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

画面3

ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。

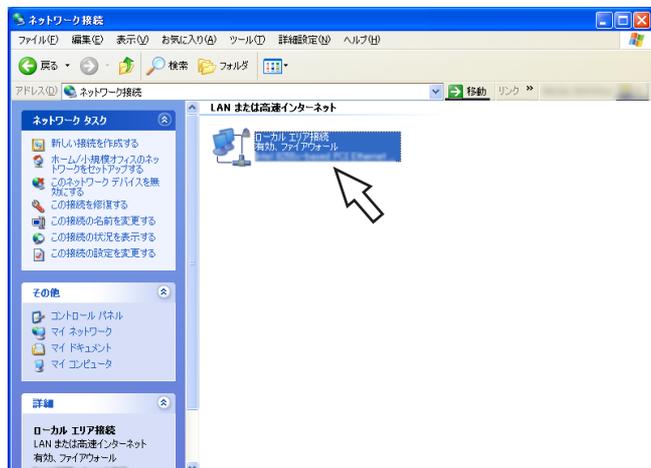


STEP3

「ネットワーク接続」をクリックします。

画面4

ネットワーク接続画面が表示されます。



STEP4

「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

画面5

ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

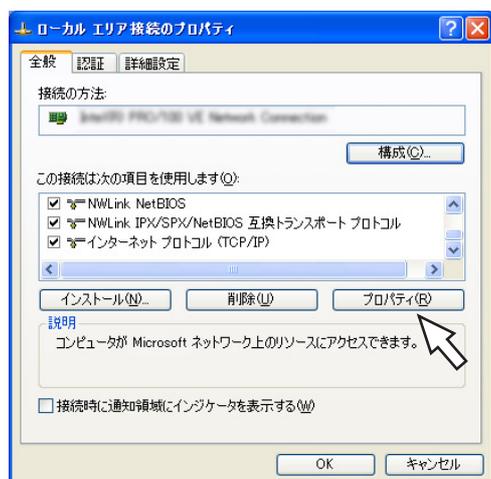


STEP5

[プロパティ] をクリックします。

画面6

ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

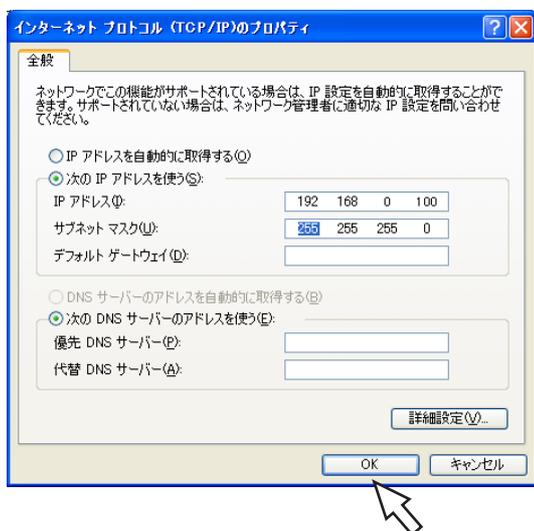


STEP6

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 をクリックし、
[プロパティ] をクリックします。

画面7

インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面が表示されます。



STEP7

[次のIPアドレスを使う] をクリックし、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を以下のように設定します。

- ・ IPアドレス：192.168.0.100
- ・ サブネットマスク：255.255.255.0

ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

STEP8

[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

①ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限

ユーザー認証／ホスト認証の設定をONにすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。(☞62ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンニングなどの不正アクセスを防止することができます。(☞52ページ)

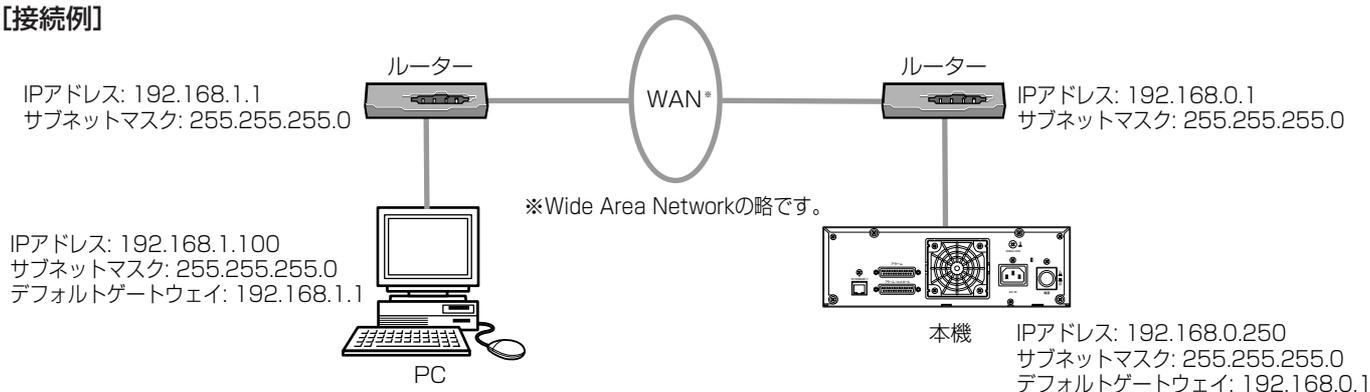
セキュリティ強化のために

ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。本機をセキュリティの確保されていないネットワークに接続する場合、本機とホストPCの間にVPN (Virtual Private Network) 機器を挿入するなどして、セキュリティを確保してから接続してください。

!!重要!!

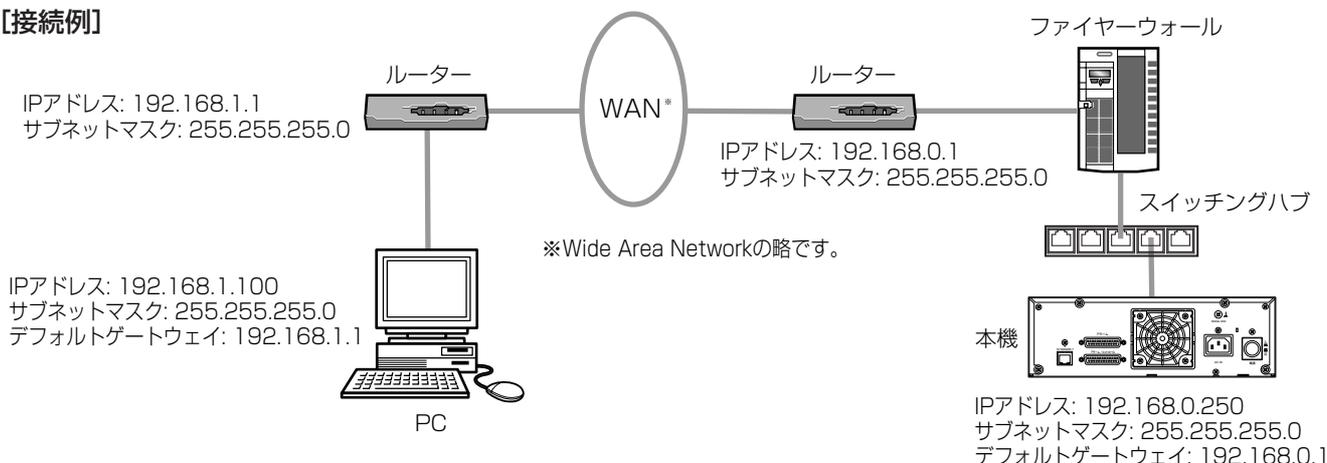
- ネットワークのセキュリティの設定は、本機が接続される社内LANやサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークのセキュリティについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

[接続例]



さらにファイヤーウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]

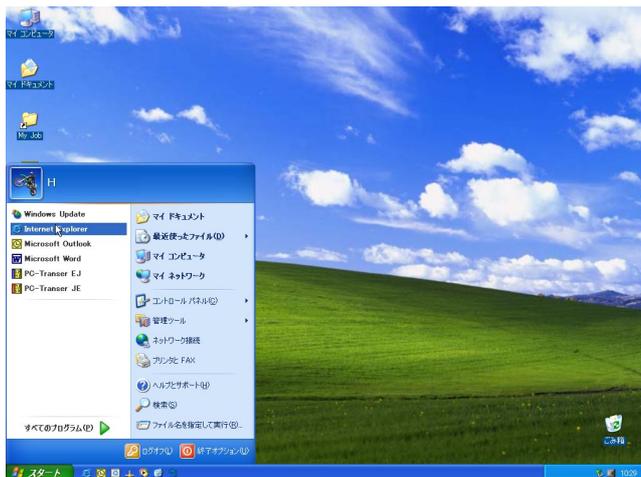


操作画面を表示する

PCにインストールされているウェブブラウザから本機を操作します。
操作画面は以下の手順で表示します。

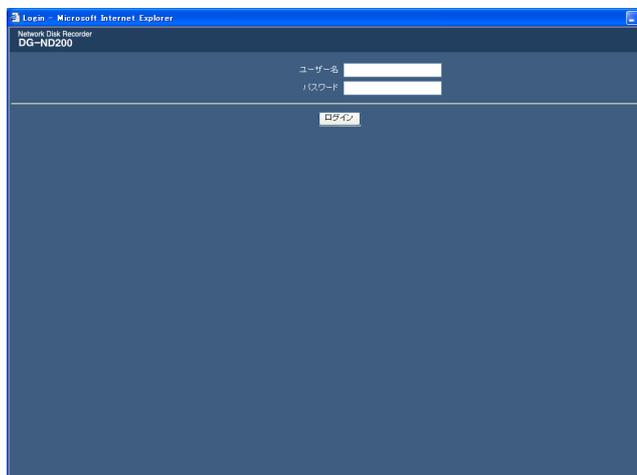
画面1

PCを起動した直後の画面から始めます。



画面2

認証ウィンドウが表示されます。
セットアップメニュー [ユーザー管理] - 「基本設定」 - [ユーザー認証] が「OFF」に設定されている場合、このウィンドウは表示されません。



STEP1

ウェブブラウザを起動し、本機に設定してあるIPアドレスまたはURLを [アドレス] ボックスに入力し、ENTERキーを押します。

!!重要!!

- 設定してあるIPアドレスについてはシステムの管理者にご確認ください。
- セットアップメニュー [ユーザー管理] - [基本設定] - [ホスト認証] が「ON」に設定されているとき、本機にIPアドレスが登録されていないPCから本機に接続することはできません。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。
例：○ 192.168.0.50
× 192.168.0.050
- 情報バーにメッセージが表示される場合は80ページをお読みください。

STEP2

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力します。

!!重要!!

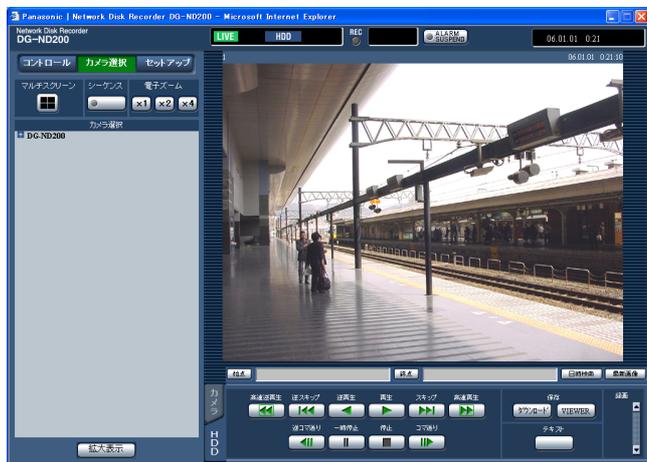
- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはシステムの管理者にご確認ください。
ユーザー登録のしかたは64ページをお読みください。
- お買い上げ時、管理者名とパスワードは以下のように設定されています。
管理者名：ADMIN
パスワード：12345
- セキュリティを確保するために、管理者のパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、63ページをお読みください。

(次ページに続く)

操作画面を表示する（つづき）

画面3

トップページが表示されます。



!!重要!!

- 管理者名、パスワードが変更されていない場合、ログイン後にパスワード変更を促すメッセージ画面が表示されます。



STEP3

ボタンやタブをクリックして、各操作を行います。

!!重要!!

- 情報バーにメッセージが表示される場合は80ページをお読みください。

メモ

- 最初にPCから本機のトップページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。



- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り替えるたびに再度インストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。

操作画面について

トップページ



準備

【コントロール】ボタン (☞16ページ)

HDD内の録画画像を検索したり、再生するなどの操作を行います。カメラのライブ画像を4画面表示に切り替えたり、シーケンス表示するなど、カメラ画像のスイッチャー機能に関する操作はこのボタンでも行えます。また、各種検索結果、ログ情報もこのボタンをクリックすると表示されます。

【カメラ選択】ボタン (☞17ページ)

カメラのライブ画像の表示を他のカメラCHの画像に切り替えるなど、カメラ画像のスイッチャー機能に関する操作はこのボタンをクリックして行います。

【セットアップ】ボタン (☞18ページ)

本機のセットアップに関する操作はこのボタンをクリックして行います。

ステータス表示部 (☞19ページ)

録画画像の再生状況や録画状態など本機の現在の状況を表示します。

現在日時表示部

現在日時を表示します。

画像表示部

ライブ画像、録画画像を表示します。セットアップ時はセットアップメニューを表示します。

画像の左上にはカメラタイトル、右上には日時（ライブ画像は表示画像の日時、再生時は録画日時）が表示されます。4画面表示中にカメラタイトルをクリックすると、クリックした画像を1画面表示します。

再生位置操作部 (☞20ページ)

再生位置を指定したり、最新の画像を再生できます。

【HDD】タブ (☞20ページ)

録画画像の再生や画像をPCに保存するなど、録画画像の制御はこのタブで行います。

【カメラ】タブ (☞22ページ)

ズームやフォーカス、オート機能などカメラ画像の制御はこのタブで行います。

操作画面について (つづき)

[コントロール] ボタン

[コントロール] ボタンをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。



準備

[電子ズーム] ボックス

クリックしたボタンの倍率でカメラ画像をズーム表示します。

x1 : 1倍 **x2** : 2倍 **x4** : 4倍

[サーチ] ボックス

ボタンをクリックすると、録画イベント検索画面を表示します。録画画像を検索する場合に使用します。(取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

検索結果は [ログ表示] ボックスの下に一覧で表示されます。(取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

[ログ表示] ボックス

障害ログ : 本機の障害発生履歴を表示します。履歴は [ログ表示] ボックスの下に一覧で表示されます。

アクセスログ : 本機にログイン/ログアウトした際の日時とユーザー名、またはIPアドレスを表示します。履歴は [ログ表示] ボックスの下に一覧で表示されます。

イベントログ : イベント発生履歴 (発生日時、イベント内容) を表示します。履歴は [ログ表示] ボックスの下に一覧で表示されます。

ネットワーク加 : ネットワーク障害発生履歴を表示します。履歴は [ログ表示] ボックスの下に一覧で表示されます。

拡大表示 : カメラのライブ画像、再生画像を拡大表示します。

[マルチスクリーン] ボックス

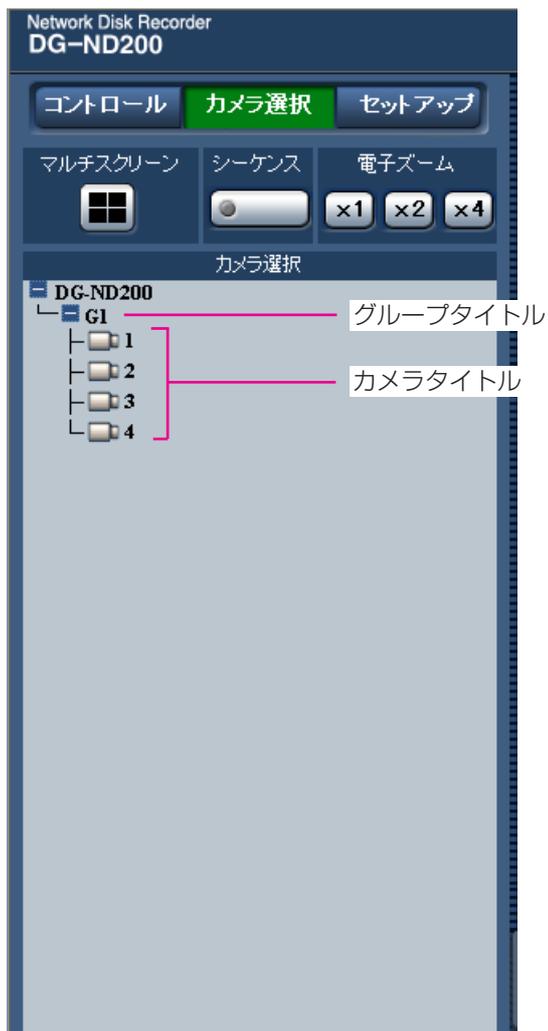
4台までのカメラの画像を同時に4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、セットアップメニュー [システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定] の設定内容に従って、カメラ画像を切り替えて4画面表示します。

[シーケンス] ボックス

ボタンをクリックすると、カメラの画像を自動的に切り替えて表示します。あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。シーケンス動作中はボタンのランプが点灯 (緑) します。

[カメラ選択] ボタン

[カメラ選択] ボタンをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。



[マルチスクリーン] ボックス

4台までのカメラの画像を同時に多画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、セットアップメニュー [[システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定]] の設定内容に従って、カメラ画像を切り替えて4画面表示します。

[シーケンス] ボックス

ボタンをクリックすると、カメラの画像を自動的に切り替えて表示します。あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。シーケンス動作中はボタンのランプが点灯（緑）します。

[電子ズーム] ボックス

クリックしたボタンの倍率でカメラ画像をズーム表示します。

x1 : 1倍 **x2** : 2倍 **x4** : 4倍

[カメラ選択] ボックス

「DG-ND200」をクリックすると、本機に設定されているカメラのグループタイトルが表示されます。グループ設定については50ページをお読みください。グループタイトルをクリックすると、そのグループに所属するカメラタイトルが表示されます。カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラの画像を画像表示部に1画面で表示します。

[セットアップ] ボタン

[セットアップ] ボタンをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。



メインメニュー

簡単設定

本機を使用するために必要な最低限の設定を行うメニューを表示します。
詳しくは28ページをお読みください。

システム

本機を動作させるために必要なシステム全般に関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは30ページをお読みください。

緊急録画

緊急録画／録音に関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは33ページをお読みください。

イベント動作

イベントの種類（端子アラーム、サイトアラーム）ごとにイベント発生時の動作に関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは35ページをお読みください。

スケジュール

曜日と時刻を指定して、録画／録音／アラーム動作を行うスケジュールの設定を行うメニューを表示します。詳しくは38ページをお読みください。

カメラ

カメラのネットワークに関する設定とグループ設定、またシーケンス動作に関する設定を行うメニューを表示します。
詳しくは46ページをお読みください。

通信

本機のネットワークに関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは52ページをお読みください。

ユーザー管理

認証に関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは62ページをお読みください。

メンテナンス

HDDに関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは69ページをお読みください。

コンフィグ

HDDのフォーマットに関する設定を行うメニューを表示します。詳しくは73ページをお読みください。

ヘルプ

ヘルプ画面を表示します。

ステータス表示部



①ライブ画像／再生画像の状態を表示します。

LIVE : ライブ画像を表示していることを示しています。

- : 録画画像を再生中であることを示しています。
- : 逆再生中であることを示しています。
- : 高速再生中であることを示しています。
- : 高速逆再生中であることを示しています。
- : 一時停止中であることを示しています。

DL : 再生画像をダウンロード中であることを示しています。

END : 再生画像のダウンロードが終了したことを示しています。

Step 1 ~ Step 7

: 再生速度を示しています。

- Step1 : 1倍速
- Step2 : 約4倍速
- Step3 : 約8倍速
- Step4 : 約16倍速
- Step5 : 約32倍速
- Step6 : 約48倍速
- Step7 : 約96倍速

SEQ : シーケンス実行中であることを示しています。

HDD : 本機にHDDが内蔵されていることを示しています。

SD ▶ HDD : SDメモリーデータ取得中であることを示しています。

RECOVER : ミラー復旧中であることを示しています。

FILTERING : 録画イベントリストが絞り込まれていることを示しています。録画イベント検索の絞り込みについては取扱説明書 操作編 (PDFファイル) をお読みください。

②RECランプ

録画状態を表示します。

赤点灯 : 録画動作中であることを示しています。

消灯 : 録画が行われていないことを示しています。

③以下の状態を表示します。

BUSY : 優先度の高いユーザーがカメラを操作しているため、カメラを操作できなかったことを示しています。

DELETE : 画像データを消去中であることを示しています。

④イベントとエラーに関する情報を表示します。

: このボタンをクリックすると、アラーム動作しなくなり、アラーム抑止中になります。(☞取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

: アラーム抑止中に表示されます。このボタンをクリックすると、アラーム動作するようになります。

: 緊急録画またはイベント発生時に表示されます。このボタンをクリックすると、アラーム動作を解除できます。(☞取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

: エラーが発生したことを示しています。このボタンをクリックすると、エラー動作を解除できます。(☞取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

メモ

- 緊急録画中に [ALM] ボタンをクリックしても、緊急録画は停止されません。ただし、緊急録画の録画時間設定が「CONTINUE」に設定されている場合は、録画を停止します。

再生位置操作部



①ダウンロードの始点／終点の日時を表示します。

(☞取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

始点 : ダウンロードしたい画像の日時の始点を設定します。

終点 : ダウンロードしたい画像の日時の終点を設定します。

② **日時検索**

頭出し日時入力画面を表示します。見たい画像の日時を指定して再生する場合に使用します。

(☞取扱説明書 操作編 (PDFファイル))

③ **最新画像**

現在表示しているカメラCHの最新録画時刻を再生します。

[HDD] タブ



 **【高速逆再生】 ボタン**

録画画像を逆方向に高速再生します。ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2 (約4倍) → Step3 (約8倍) → Step4 (約16倍) → Step5 (約32倍) → Step6 (約48倍) → Step7 (約96倍) と切り替わります。

 **【逆スキップ】 ボタン**

逆方向にスキップして前の録画画像を再生します。

 **【逆再生】 ボタン**

録画画像を逆再生します。

 **【再生】 ボタン**

録画画像を再生します。

 **【スキップ】 ボタン**

順方向にスキップして次の録画画像を再生します。

 **【高速再生】 ボタン**

録画画像を順方向に高速再生します。ボタンをクリックするたびに、再生速度がStep2 (約4倍) → Step3 (約8倍) → Step4 (約16倍) → Step5 (約32倍) → Step6 (約48倍) → Step7 (約96倍) と切り替わります。

 **【逆コマ送り】 ボタン**

再生中、一時停止中にクリックすると、前のコマを再生します。



【一時停止】 ボタン

再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再び再生を開始します。



【停止】 ボタン

再生を停止して、カメラのライブ画像を表示します。



【コマ送り】 ボタン

再生中、一時停止中にクリックすると、次のコマを再生します。

【保存】ボックス

再生中の画像をPCにダウンロードします。

 : ダウンロード設定画面が表示され、画像をダウンロードできます。

ダウンロードの始点/終点日時は再生位置操作部に表示されます。

 : ダウンロード画像を再生するためのビューワーソフトウェアをダウンロードします。

【テキスト】ボックス



再生一時停止中にクリックすると、付加されている文字情報を表示/編集できます。

【録画】ボックス

 をクリックすると、SDメモリーデータ取得ボタン、録画ボタン、録画停止ボタンが表示されます。

 をクリックすると、SDメモリーデータ取得ボタン、録画ボタン、録画停止ボタンが表示されなくなります。

 (SDメモリーデータ取得ボタン) :

カメラのSDメモリーカードに録画された画像を取得して、HDDに録画します。SDの文字が赤い場合は、画像取得中であることをあらわします。

SDの文字が青い場合、クリックすると、画像有無のチェックを行います。画像があればSDの文字が赤くなり、画像を取得します。

 (録画ボタン) : マニュアル録画を開始します。

 (録画停止ボタン) : マニュアル録画を停止します。

!!重要!!

- SDメモリーデータ取得ボタン、録画ボタン、録画停止ボタンを表示するときは、ボタンが表示されるまで、 を押し続けてください。
- SDメモリー録画レートが設定されていない場合、SDメモリーデータ取得ボタンは表示されません。

メモ

- 再生画像がMPEG-4画像の場合、以下の動作になります。
 - ・日時検索 : 指定した時刻の数秒後から再生される場合があります。
 - ・逆再生 : 録画されているすべての画像は表示されません。録画時にカメラに設定されていたリフレッシュ周期で逆再生されます。
 - ・再生中の再生
 - : 再生中に再度、再生操作を行うと、数秒間だけ再生時間が飛んで再生されることがあります。
 - ・逆コマ送り
 - : 録画されているすべての画像は表示されません。録画時にカメラに設定されていたリフレッシュ周期で逆コマ送りされます。
 - ・高速再生/高速逆再生
 - : 録画されているすべての画像は表示されません。録画時にカメラに設定されていたリフレッシュ周期で高速再生/高速逆再生されます。
 - ・再生中画像のダウンロード
 - : 指定した始点日時の数秒前から指定した終点日時の数秒後まで保存される場合があります。

操作画面について（つづき）

[カメラ] タブ

コントロールパッド/ボタン



[ズーム] ボックス

または をクリックしてズームを調節します。 をクリックすると、ズームをリセットできます。

[フォーカス] ボックス

または をクリックして、カメラ画像の焦点を調節します。
 をクリックすると、自動で焦点を調節（オートフォーカス）することができます。

[自動モード] ボックス

カメラの自動モード機能を選択して動作させます。
 をクリックしてカメラの自動モード機能（自動追従、オートパン、プリセットシーケンス、ソート、パトロール）を選択し、 をクリックします。
 をクリックすると、カメラの自動モード機能を終了します。

コントロールパッド/ボタン

パッド周囲にあるボタンをクリックすると、クリックした方向にカメラの向きが移動（パン/チルト）します。また、コントロールパッド内をクリックしても、画像の水平位置/垂直位置を調節（パン/チルト）できます。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン/チルトの速度が速くなります。

[明るさ] ボックス

または をクリックして、レンズの絞りを調節します。 をクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

[プリセット] ボックス

現在のカメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。カメラに登録したい方向へ向け、 をクリックして登録したいプリセット番号（1～256）を選択し、 をクリックします。
あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。 をクリックしてプリセット番号を選択し、 をクリックします。
プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

セットアップメニュー

本機を操作する場合、あらかじめセットアップメニューで各項目を設定しておく必要があります。
セットアップメニューの表示は、[セットアップ] ボタンで行います。

メニュー一覧

設定項目	概要	ページ
簡単設定		
設定	本機を使用するために必要な最低限の設定を行います。	28
システム		
基本設定	本機の基本的な動作に関する設定を行います。	30
日付時刻設定	現在時刻の設定と日付時刻の表示に関する設定を行います。	31
緊急録画		
緊急録画設定	緊急録画時の録画時間や録画レート、録音など緊急録画に関する設定を行います。	33
イベント動作		
基本設定	アラーム動作に関する基本設定を行います。	35
端子アラーム設定	端子アラームが発生したときのアラーム動作を設定します。	36
サイトアラーム設定	サイトアラームが発生したときのアラーム動作を設定します。	37
スケジュール		
タイムテーブル	曜日ごとに1日の動作の時間帯（タイムテーブル）を設定し、各タイムテーブルに動作するプログラムを割り当てます。	43
プログラム	録画動作のプログラムを作成します。プログラムは4つまで作成できます。各プログラムにカメラCHごとの録画レート、録音など録画動作に関する設定を行います。	38
スペシャルデー	特定日として個別に別の曜日のタイムテーブルを割り当てます。	45
カメラ		
NWカメラ設定	カメラのアドレスやポート番号などカメラのネットワーク設定を行います。	46
グループ設定	カメラのグループタイトルを設定します。	50
シーケンス設定	カメラのシーケンス動作を設定します。	51

セットアップメニュー（つづき）

設定項目	概要	ページ
通信		
基本設定	ネットワークに関する基本設定を行います。IPアドレスやゲートウェイアドレスの設定などネットワークの接続に関する設定を行います。	52
DDNS設定	本機のネットワークのDDNSに関する基本設定を行います。DDNS使用のON/OFFやユーザー名などを設定します。	54
プロキシ設定	本機のネットワークのプロキシに関する基本設定を行います。プロキシサーバー使用のON/OFFやサーバーアドレスなどを設定します。	55
SNMP設定	SNMPに関する設定を行います。SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。	56
NTP設定	NTPサーバーのアドレスの設定など、NTPサーバーを基準に時刻補正をする場合に必要な設定を行います。	57
FTP設定	FTPサーバーに関する設定を行います。本機に接続されたカメラの画像を、定期的に指定したFTPサーバーに送信するよう設定したい場合、このFTP設定で必要な設定を行います。	58
メール設定	イベントや障害発生時、あらかじめ登録したメールアドレスに電子メールを送信するメール通知に関する設定を行います。	60
独自アラーム通知	当社独自の通信方式でイベントや障害発生時、あらかじめ登録したアドレスへメッセージを送信します。	61
ユーザー管理		
基本設定	ユーザー認証とホスト認証を行うかどうかを設定します。	62
管理者設定	管理者名やパスワード、スタートモニターなど、登録した管理者情報を修正します。	63
ユーザー設定	本機を操作できる人のユーザー登録や登録されているユーザー情報を修正または削除する設定です。 ユーザー名やパスワード、操作できるレベルなどを設定します。	64
ホスト設定	ネットワークを経由して本機にアクセスできるPC（ホスト）の登録や登録されているホスト情報を修正または削除する設定です。 PCのIPアドレスや操作できるレベルなどを設定します。	65
レベル設定	各ユーザーレベルで操作できる機能を設定します。	67

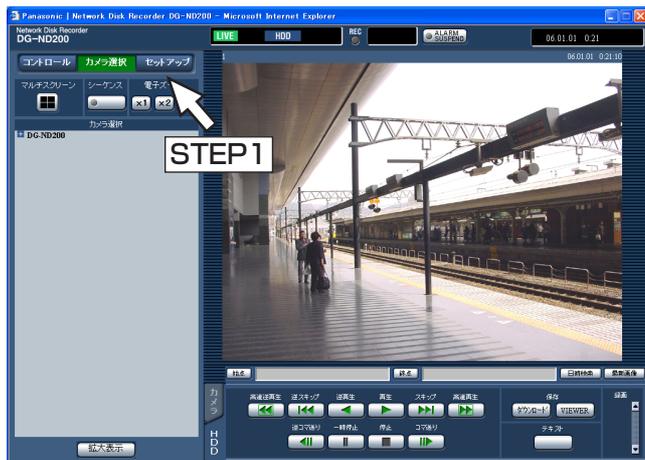
設定項目	概要	ページ
メンテナンス		
本体情報	ソフトウェア、ハードウェアのバージョン情報、MACアドレス、シリアル番号、本機の内部温度、運用ボタン押下回数を表示します。	69
ディスク情報	本機のHDDの残容量などHDD情報を表示します。	70
ネットワーク情報	本機に設定しているカメラのアドレス、本機の通信速度などのネットワーク情報を表示します。	70
ディスク設定	HDDの残容量や画像データに関する設定を行います。 HDDの残容量がなくなったときの動作や、HDD内の記録データを消去するなどの設定を行います。	71
設定データ管理	本機に設定されているセットアップメニューの内容をセーブ／ロード／初期化します。	72
コンフィグ	前面パネルのフォーマットボタンの有効／無効の設定とHDDのフォーマットを行います。	73

セットアップメニュー（つづき）

基本的な操作のしかた

画面1

トップページから操作します。



STEP 1

[セットアップ] ボタンをクリックします。

画面2

メインメニューのボタンが表示されます。

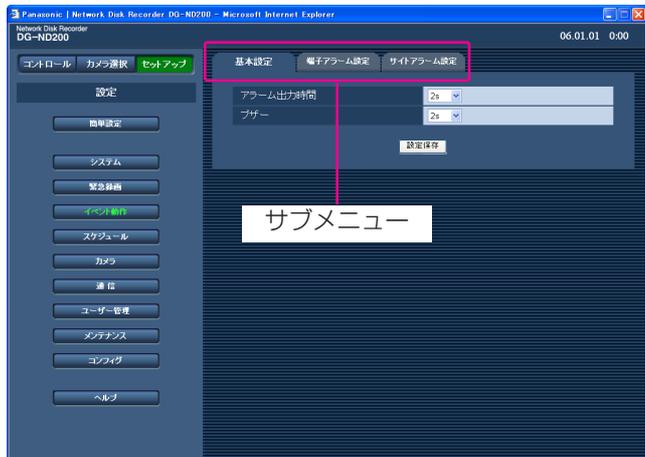


STEP 2

設定したいメインメニューのボタンをクリックします。

画面3

選択したメインメニューのサブメニューのタブが表示されます。



STEP 3

設定したいサブメニューのタブをクリックします。

画面4

画像表示部に選択したサブメニューの設定項目が表示されます。



STEP4

STEP4

各項目を設定します。

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定した内容が本機に反映されます。

[設定保存] ボタンをクリックしないで、他のページに移動すると、変更した内容が破棄されます。

!!重要!!

- 設定内容を反映すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- ユーザー管理に関する設定を変更すると、すべてのユーザーは強制的にログアウトします。
- 設定保存直後、約4秒間は録画が行われません。

必要最低限の設定を行う [簡単設定]

本機を使用する際に必要な最低限の設定を行います。

セットアップメニューで設定を行う場合、まず、簡単設定の設定内容を確認し、設定を行ってください。

画面1

[簡単設定] ボタンをクリックし、設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

STEP2

設定したら、「設定保存」ボタンをクリックします。

メモ

- LANGUAGEと日時設定で1項目、ポート設定で1項目、自動カメラ登録で1項目、プログラム設定で1項目になります。各項目の設定を行った場合、「設定保存」ボタンをクリックし、本機に設定を反映してください。

設定項目について

■LANGUAGE

ウェブブラウザに表示される言語を以下から設定します。

JAPANESE/ENGLISH/FRANÇAIS/ESPAÑOL
/DEUTSCH/ITALIANO/RUSSIAN/CHINESE

お買い上げ時の設定：JAPANESE

■日時設定

現在の日付時刻を設定します。

年・月・日・時・分の数値を選択します。

!!重要!!

- 日付時刻を設定した直後、約4秒間は録画が行われません。
- 日付時刻の設定やサマータイムの切り替えがおこなわれるなど日付時刻が変更された直後は、約4秒間はライブ映像は黒画になり、録画は行われません。

■ポート設定

各ポート（ネットワークポート、メンテナンスポート）ごとに以下の項目を設定します。

[DHCP]

DHCPサーバーを使用するかどうかをON/OFFで設定します。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPサーバーから取得する場合、「ON」に設定します。これらのアドレスを手動で入力する場合は「OFF」に設定します。

ON : DHCPサーバーを使用します。

OFF : DHCPサーバーを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

!!重要!!

- 各ポートの設定は必ず異なるサブネット領域となるように設定してください。
- DHCPを「ON」に設定した場合、「SDメモリー録画」を設定すると、起動時にカメラのSDメモリーデータへの書き込み要求に失敗する場合があります。これはDHCPサーバーからの応答が遅い場合に起こりますが、DHCPサーバーからのアドレスを取得できると障害は復旧します。

【IPアドレス】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、IP アドレスを入力します。ネットワークの規則に従って0~255までの10進数を4つに区切って入力します。

【サブネットマスク】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってネットマスクを入力します。

【ゲートウェイ】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

【通信速度】

データの通信速度を設定します。

- AUTO : 自動設定します。
- 10-HALF : 10 Mbps半二重
- 10-FULL : 10 Mbps全二重
- 100-HALF : 100 Mbps半二重
- 100-FULL : 100 Mbps全二重

お買い上げ時の設定：AUTO

!!重要!!

- すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度が一致するように設定してください。
推奨通信速度：100M bps-FULL
例えば、HUB側の通信速度が「AUTO」でレコーダー側が「100M bps-FULL」の場合、正しく画像を表示・記録・再生できない場合があります。

メモ

- 通信速度の設定を変更して設定保存すると、本機は再起動します。

■自動カメラ登録

カメラを自動検出し、登録します。カメラのIPアドレスの登録のしかたは以下のどちらかを選択します。

検出したカメラに本機が自動付与したIPアドレスを登録する：検出したカメラに本機がIPアドレスを自動付与し、自動付与したIPアドレスで本機にカメラを登録します。

検出したカメラに設定されているIPアドレスを登録する：検出したカメラに設定されているIPアドレスで、本機にカメラを登録します。

メモ

- 自動カメラ登録を行うと、本機にログインしている

他のユーザーは強制的にログアウトします。

- 自動カメラ登録中は、本機の録画はすべて停止します。
- 自動カメラ登録は、ルーターを経由した異なるサブネットのカメラには使用できません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、初期値の設定から変更すると、電源投入後の20分しか検出されません。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- 登録されたカメラの圧縮方式は、自動的にJPEG方式、またはM-JPEG方式に設定されます。
- 「検出したカメラに本機が自動付与したIPアドレスを登録する」を実行した場合、本機は空きIPアドレスを自動で検出して設定しますが、お使いのネットワーク環境によっては、他の機器とIPアドレスが重複してしまうことがあります（Windows XPのファイアウォール機能を使用している場合など）。他の機器とIPアドレスが重複してしまう場合には、IPアドレスの設定を確認し、手動登録してください。
- 「検出したカメラに本機が自動付与したIPアドレスを登録する」を実行し、検出したカメラのDHCPがONの場合、本機はカメラのDHCP設定をOFFに変更し、IPアドレスを自動付与します。
- 本機のDHCP設定が「OFF」の場合のみ、IPアドレスの自動付与が可能です。
- IPアドレスを自動付与する場合、ネットワークポートのサブネットマスクは「255.255.255.0」を使用してください。
- カメラにIPアドレスを登録すると、カメラのHTTPポート番号は自動的に「80」に設定されます。また、カメラの「サブネットマスク」「ゲートウェイ」は、本機のネットワークポートの「サブネットマスク」「ゲートウェイ」と同じ値に設定されます。
- カメラの登録結果画面で同じIPアドレスのカメラはIPアドレスとMACアドレスが赤く表示されます。IPアドレスが重複しないよう設定してください。

!!重要!!

- 「検出したカメラに本機が自動付与したIPアドレスを登録する」を実行すると、検出したすべてのカメラにIPアドレスを自動付与します。すでに運用しているカメラがある場合は、ご注意ください。

■プログラム設定

プログラムを選択し、[表示] ボタンをクリックすると、プログラム設定画面が表示されます。プログラム設定画面の詳細は、39ページをお読みください。

システムに関する設定 [システム]

本機を動作させるために必要なシステム全般に関わる設定を行います。

システムの基本設定を行う [基本設定]

本機の基本的な動作に関する設定を行います。

画面1

[システム] ボタンをクリックし、サブメニューの [基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■録画動作

録画動作のON/OFFを設定します。

OFF : 録画動作を行いません

ON : 録画動作を行います

お買い上げ時の設定 : ON

■LANGUAGE

ウェブブラウザに表示される言語を以下から設定します。

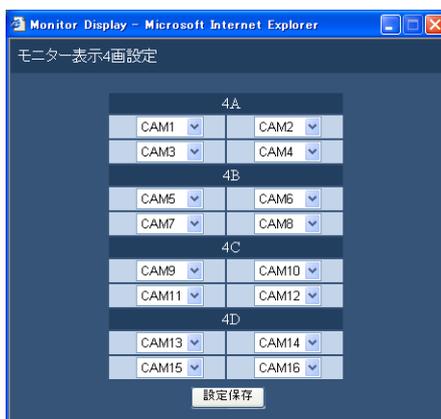
JAPANESE/ENGLISH/FRANÇAIS/ESPAÑOL
/DEUTSCH/ITALIANO/RUSSIAN/CHINESE

お買い上げ時の設定 : JAPANESE

■モニター表示4画設定

4画面表示のとき、画面のどの位置にどのカメラCHの画像を表示するかを設定します。また、4画面シーケンスの4画設定（4A～4D）も合わせて行います。

[設定へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。4A～4Dそれぞれに4つのカメラCHを設定することができ、カメラ番号が表示されている場所が画面上にカメラ画像が表示される場所になります。設定したら [設定保存] ボタンをクリックし、右上の [×] ボタンをクリックして画面を閉じます。



■最新画像位置

「最新画像」ボタンを押したとき、再生する時刻を以下から設定します。

最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／

最新1分前／最新5分前

お買い上げ時の設定：最新30秒前

■障害ブザー鳴動

本機に障害が発生したときにブザーを鳴らすかどうかを以下から設定します。

OFF：障害発生時にブザーは鳴らしません。

2 s／5 s／10 s／20 s／30 s／1 min

：障害発生から設定した時間ブザーを鳴らします。

EXT：障害発生から[ERR] ボタンをクリックまたは、前面パネルのブザー停止ボタンを押すまでブザーを鳴らします。

お買い上げ時の設定：2 s

■停電処理開始時間

本機に停電検出信号が入力されてから停電処理を開始するまでの時間を以下から設定します。

10 s／20 s／30 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min

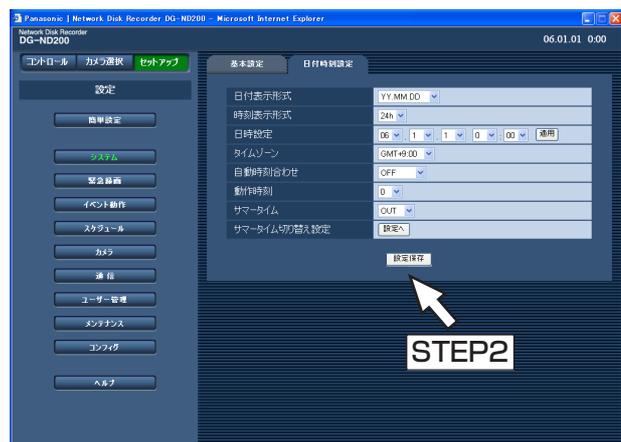
お買い上げ時の設定：10 s

日付時刻を設定する【日付時刻設定】

日付時刻表示に関する設定を行います。

画面1

[システム] ボタンをクリックし、サブメニューの [日付時刻設定] タブをクリックして、日付時刻設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■日付表示形式

日付の表示形式を以下から設定します。

(例：2006年4月1日の場合)

YY.MM.DD：06.04.01と表示します。

MMM.DD.YY：APR.01.06と表示します。

DD.MMM.YY：01.APR.06と表示します。

お買い上げ時の設定：YY.MM.DD

■時刻表示形式

時刻の表示形式を以下から設定します。

(例：午後3時00分00秒の場合)

12 h：3:00:00PMと表示します。

24 h：15:00:00と表示します。

お買い上げ時の設定：24 h

セットアップメニュー（つづき）

■日時設定

現在の日付時刻を設定します。
年・月・日・時・分の数値を選択し [適用] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- 日付時刻を設定した直後、約4秒間は録画が行われません。
- 日付時刻の設定やサマータイムの切り替えが行われるなど日付時刻が変更された直後は、約4秒間はライブ映像は黒画になり、録画は行われません。

■タイムゾーン

本機のタイムゾーンを設定します。国内で使用する場合は、「GMT+9:00」に設定してください。
お買い上げ時の設定：GMT+9:00

■自動時刻合わせ

自動時刻合わせの方法を以下から設定します。

- OFF : 自動時刻合わせを行いません。
- SLAVE : 後面のアラーム／コントロール端子に信号が入力されると、本機の時刻を合わせます。
- MASTER : 後面のアラーム／コントロール端子から信号を出力して、他の機器の時刻を本機の時刻に合わせます。

お買い上げ時の設定：OFF

■動作時刻

「自動時刻合わせ」を「MASTER」に設定しているときは、アラーム／コントロール端子アラーム／コントロール端子の時刻合わせ入力（20番ピン）から信号を出力する時刻を設定します。「SLAVE」に設定しているときは、信号を入力し時刻合わせを実行する時刻を設定します。

お買い上げ時の設定：0

!!重要!!

- 後面のアラーム／コントロール端子の時刻合わせ入力（20番ピン）により、現在時刻の設定が変更された場合、約4秒間録画が行われません。
- 「SLAVE」のとき、本機の録画状態により、動作が異なります。詳しくは、取扱説明書 設置工事編 20、21ページをお読みください。

■サマータイム

サマータイムの切り替え方法を以下から設定します。
サマータイム期間中は時刻に「*」が表示されます。

- OUT : サマータイムを設定しません。
- AUTO : サマータイム切り替え設定の設定内容に従って自動で時刻をサマータイムに切り替えます。

お買い上げ時の設定：OUT

■サマータイム切り替え設定

サマータイムの開始／終了日時を設定します。
[設定へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定したら、[設定保存] ボタンをクリックし、右上の [×] ボタンをクリックして画面を閉じます。
サマータイムの開始年月日時刻と終了年月日時刻を入力します。「年」には西暦の下2桁を入力します。
サマータイムの切り替え日時は10件まで設定できます。

		年	月	日	時	分
1	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
2	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
3	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
4	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
5	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
6	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
7	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
8	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
9	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--
10	IN	--	--	--	--	--
	OUT	--	--	--	--	--

緊急録画に関する設定 [緊急録画]

緊急録画に関する設定を行います。

緊急録画に関する設定を行う [緊急録画設定]

録画時間や録画レート、録音など緊急録画に関する設定を行います。緊急録画の方法については付属の取扱説明書設置工事編をお読みください。

画面1

[緊急録画] ボタンをクリックして、緊急録画設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

各項目を設定します。
各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- 緊急録画の終了から約4秒間録画は行われません。

設定項目について

■録画時間

緊急録画を行うときの録画時間または録画動作を設定します。

設定できる値（内容）は以下のとおりです。

2 s / 5 s / 10 s / 20 s / 30 s / 1 min / 3 min / 5 min / 10 min / 30 min

MANUAL : 緊急録画入力に信号が入っている間だけ録画を行います。

CONTINUE : [ALM] ボタンをクリックするまで録画を行います。

お買い上げ時の設定 : 10 s

メモ

- 録画時間が「MANUAL」に設定されている場合、最低8秒間録画を行います。

■レコーダー設定

【録画レート】

カメラCHごとに緊急録画の録画レートを設定します。設定できる録画レートは以下のとおりです。OFFに設定したカメラCHは録画されません。

OFF / 1 ips / 2 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / ALL / I-Frame

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 設定されているカメラ画像の圧縮方式によって、設定できる値が異なります。圧縮方式は [カメラ] - [NWカメラ設定] - [カメラ品番 / 圧縮方式] で設定します。

セットアップメニュー（つづき）

【録音】

カメラCHごとに緊急録画の録音のON/OFFを設定します。

OFF：録音を行いません。

ON：録音を行います。

お買い上げ時の設定：OFF

メモ

- 録音は録画と同時に行います。音声のみを録音することはできません。
- DG-NT304/DG-NT314では1CHのみ録音可能です。2~4CHの録音は常に「OFF」となります。
- 録音とSDメモリー録画を同時に行うことはできません。SDメモリー録画の録画レートを「OFF」以外に設定すると、そのカメラCHの録音は自動的に「OFF」に設定されます。

!!重要!!

- 録音を「ON」に設定する場合は、必ずカメラ側も音声の配信が有効となるよう設定してください。また、カメラの音声のビットレートを「32kbps」に設定してください。
- 録音を行う場合はカメラの「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重）」に設定してください。カメラの機種、バージョンによっては「双方向（全二重）」に対応していない場合があります。
- 音声は1画面表示、多画面表示に関係なく録音されます。

■カメラ設定

カメラCHごとにSDメモリー録画の録画レートを設定します。SDメモリー録画については41ページをお読みください。

録画レートを以下から設定します。OFFに設定したカメラCHはSDメモリー録画を行いません。

OFF/0.1 ips/0.5 ips/1 ips

お買い上げ時の設定：OFF

メモ

- 録画レートを設定できるのは、SDメモリー録画に対応した機種であり、かつ圧縮方式が「M-JPEG」に設定されたカメラのみです。
- SDメモリー録画の録画レートは、緊急録画の録画レートよりも小さい値を設定してください。
- DG-NT304/DG-NT314ではSDメモリー録画の録画レートを0.5 ips/1 ipsに設定すると、0.2 ipsで録画します。
- SDメモリー録画の録画レートを設定する場合は、必ずカメラ側の設定も「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定してください。カメラ側でSDメモリーカードを「使用しない」に設定した場合やSDメモリーカードが挿入されていない場合（挿入不良を含む）、1日に数回エラーメッセージが表示され、その際に約20秒間録画されないことがあります。また、カメラのファームバージョンが古い場合も同様の現象が起こりますので、その場合は対応バージョンにバージョンアップしてください。
- 録音とSDメモリー録画は同時に行えません。録音を「ON」に設定すると、そのカメラCHのSDメモリー録画の録画レートは自動的に「OFF」に設定されます。

!!重要!!

- カメラと通信できていない状態で緊急録画の入力があった場合は、SDメモリー録画は行われません。

イベントに関する設定 [イベント動作]

イベントの種類（サイトアラーム、端子アラーム）ごとにイベント発生時の動作に関する設定を行います。各イベントについて詳しくは付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。

アラーム動作に関する基本設定を行う [基本設定]

イベント発生時の各カメラCHのアラームの出力時間とブザー鳴動の時間など、アラーム動作に関する設定を行います。

画面1

[イベント動作] ボタンをクリックし、サブメニューの [基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。

■アラーム出力時間

アラーム信号の出力時間を設定します。
設定できるアラーム出力時間は以下のとおりです。

OFF：アラーム出力しません。

2 s / 5 s / 10 s / 20 s / 30 s / 1 min

EXT：[ALM] ボタンをクリックするまでアラーム出力し続けます。

REC：イベント録画している間のみアラーム出力し続けます。

お買い上げ時の設定：2 s

■ブザー

イベント発生時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。
設定できるブザー鳴動時間は以下のとおりです。

OFF：ブザーは鳴りません。

2 s / 5 s / 10 s / 20 s / 30 s / 1 min

EXT：[ALM] ボタンをクリックまたは、前面パネルのブザー停止ボタンを押すまで、ブザーが鳴り続けます。

REC：イベント録画している間のみブザー鳴動し続けます。

お買い上げ時の設定：2 s

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

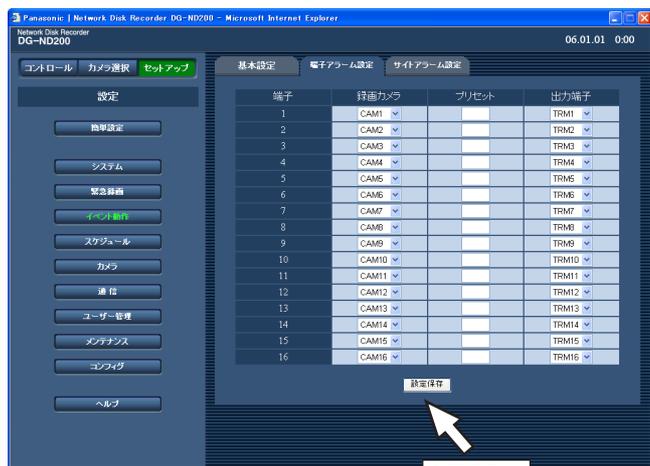
セットアップメニュー（つづき）

端子アラームに関する設定を行う [端子アラーム設定]

端子アラームが発生したときのアラーム動作を設定します。

画面1

[イベント動作] ボタンをクリックし、サブメニューの [端子アラーム設定] タブをクリックして、端子アラーム設定画面を表示します。



STEP1

端子アラームCHごとに以下の項目を設定します。

【録画カメラ】

録画するカメラCHを設定します。

【プリセット】

アラームが入ったときに移動するプリセットポジション（1～256）を端子ごとに入力します。

空白の場合、プリセットポジションへの移動を行いません。

【出力端子】

端子ごとにアラームが入ったとき、アラーム信号を出力する出力端子（—、TRM1～TRM16）を設定します。「—」を選択すると、アラーム信号を出力しません。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

メモ

- コマンドアラームの動作も端子アラーム設定で動作します。

サイトアラームに関する設定を行う [サイトアラーム設定]

カメラからの独自アラームを有効にするか無効にするかの設定や、独自アラームを受信するときに使用するポート番号、また、独自アラームが発生したときのカメラCHごとのアラーム動作を設定します。

画面1

[イベント動作] ボタンをクリックし、サブメニューの [サイトアラーム設定] タブをクリックして、サイトアラーム設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

各項目を設定します。

■サイトアラーム有効

サイトアラームを有効にするか無効にするかをON/OFFで設定します。

ON : サイトアラームを有効にします。

OFF : サイトアラームを無効にします。

お買い上げ時の設定 : OFF

■ポート番号 (カメラ→ND200)

サイトアラームを受信するときに使用するポート番号を指定します。

■サイトアラーム設定

カメラCHごとに以下の項目を設定します。

【録画カメラ】

録画するカメラCHを設定します。

【プリセット】

アラームが入ったときに移動するプリセットポジション (1~256) をカメラごとに入力します。

空白の場合、プリセットポジションへの移動を行いません。

【出力端子】

アラームが入ったとき、アラーム信号を出力する出力端子 (—、TRM1~TRM16) を設定します。「—」を選択すると、アラーム信号を出力しません。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

セットアップメニュー（つづき）

録画／アラーム動作スケジュールに関する設定 [スケジュール]

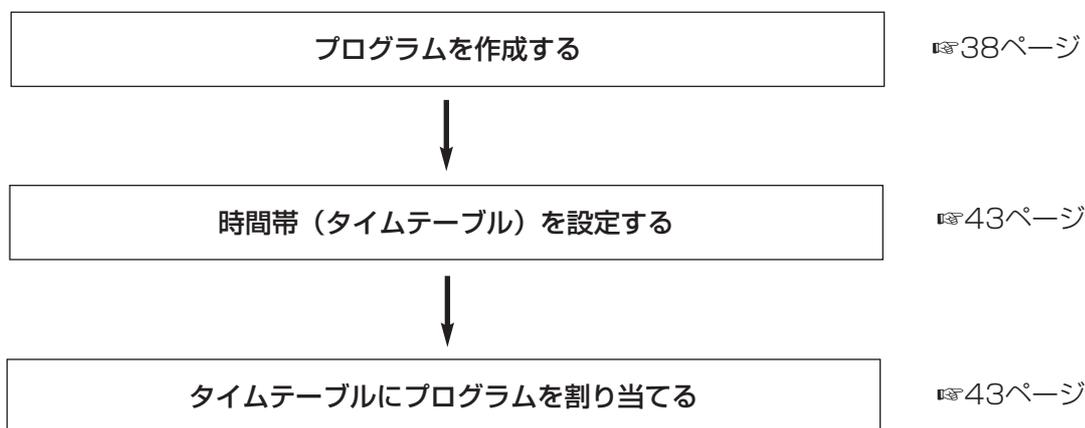
曜日と時刻を指定して、録画動作のスケジュールを設定します。

1日を最大6つの時間帯に分けることができ、それぞれの時間帯にプログラムを割り当て、スケジュールを作成します。本機ではプログラムを4つまで作成できます。プログラムは録画レートやイベント録画時の録画時間・録音などを設定します。

また、通常のスケジュールとは別に「特定日（スペシャルデー）」を設定でき、自動的に別の曜日のタイムテーブルに切り替えて動作させることもできます。

スケジュール作成の流れ

スケジュールは以下の手順で作成します。



プログラムを作成する [プログラム]

各カメラCHのカメラ画像の録画レートなどプログラムは4つまで作成できます。

画面1

[スケジュール] ボタンをクリックし、サブメニューの [プログラム] タブをクリックして、プログラム設定画面を表示します。

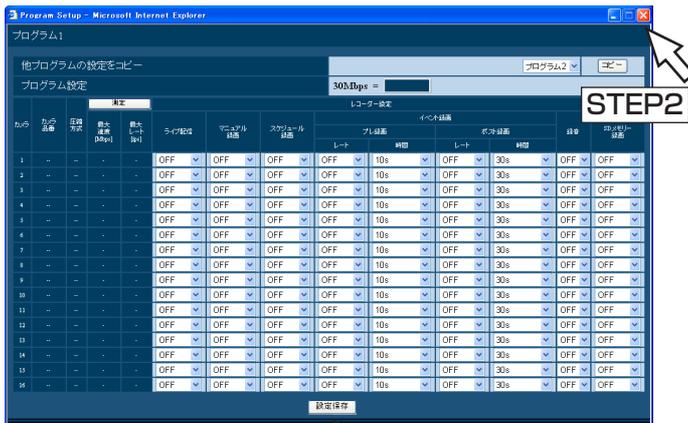


STEP 1

プログラムを作成したいプログラムの [設定へ] ボタンをクリックします。

画面2

プログラム設定画面が表示されます。



STEP3

設定項目について

■他プログラムの設定をコピー

他のプログラムで設定されているプログラムの設定をコピーしたい場合は、コピー元のプログラムを選択し、[コピー] ボタンをクリックします。

■レコーダー設定

各カメラCHのライブ配信のレートや本機に録画されるカメラ画像の録画レートを録画の種類ごとに設定します。

[ライブ配信]

カメラ画像のライブ配信レートを以下から設定します。

OFF：ライブ配信を行いません。

1 ips/2 ips/3 ips/5 ips/10 ips/
15 ips/ALL/I-Frame

お買い上げ時の設定：OFF

[マニュアル録画]

マニュアル録画の録画レートを以下から設定します。

OFF：マニュアル録画を行いません。

0.1 ips/0.2 ips/0.3 ips/0.5 ips/
1 ips/2 ips/3 ips/5 ips/10 ips/15 ips/
ALL/I-Frame

お買い上げ時の設定：OFF

STEP2

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

STEP3

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックし、右上の [×] ボタンをクリックして画面を閉じます。

[スケジュール録画]

スケジュール録画の録画レートを以下から設定します。

OFF：スケジュール録画を行いません。

0.1 ips/0.2 ips/0.3 ips/0.5 ips/1 ips/2
ips/3 ips/5 ips/10 ips/15 ips/ALL/I-
Frame

お買い上げ時の設定：OFF

[イベント録画]

イベント録画のプレ録画、ポスト録画の録画レートと録画時間を設定します。

設定できる録画レートは以下のとおりです。

OFF：録画を行いません。

1 ips/2 ips/3 ips/5 ips/10 ips/15 ips/
ALL/I-Frame

お買い上げ時の設定：OFF

!!重要!!

- イベント発生タイミングによっては、設定したポスト録画時間どおりの録画データが作られないことがあります。

メモ

- カメラの圧縮方式がM-JPEGのプレ録画のレート設定には「ALL」はありません。

設定できる録画時間は以下のとおりです。

- イベント・プレ録画の場合

2 s/5 s/10 s/20 s/30 s

お買い上げ時の設定：10 s

セットアップメニュー（つづき）

- イベントポスト録画の場合
2 s/5 s/10 s/20 s/30 s/1 min/2 min/3 min/5 min/10 min
MANUAL : イベント（サイトアラーム、端子アラーム、コマンドアラーム）のアラーム信号が入力され続けている間だけ録画を行います。
CONTINUE : [ALM] ボタンをクリックするまで録画を行います。
お買い上げ時の設定 : 30 s

メモ

- 録画時間が「MANUAL」に設定されているとき、アラーム動作を解除しなければ、最低8秒間、録画されます。

!!重要!!

- MPEG-4画像でプレ録画を行う場合、カメラの設定を以下のようにしてください。
 - ・リフレッシュ周期 : 1秒以上
 - ・1クライアントあたりのビットレート : 4096 Kbps以下上記以外の設定で使用すると、設定したプレ録画時間とおりの録画データが作られないことがあります。
- お使いのネットワーク環境または画像データサイズによっては、設定したプレ録画レート、プレ録画時間とおりの録画データが作られないことがあります。

【録音】

カメラCHごとに録音のON/OFFを設定します。

OFF : 録音を行いません。

ON : 録音を行います。

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 録音は録画と同時に行います。音声のみを録音することはできません。
- DG-NT304/DG-NT314では1CHのみ録音可能です。2~4CHの録音は常に「OFF」となります。
- 録音とSDメモリー録画を同時に行うことはできません。SDメモリー録画の録画レートを「OFF」以外に設定すると、そのカメラCHの録音は自動的に「OFF」に設定されます。

!!重要!!

- 録音を「ON」に設定する場合は、必ずカメラ側も音声の配信が有効となるよう設定してください。また、カメラの音声のビットレートを「32kbps」に設定してください。
- 録音を行う場合はカメラの「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重）」に設定してください。カメラの機種、バージョンによっては「双方向（全二重）」に対応していない場合があります。
- 音声は1画面表示、多画面表示に関係なく録音されます。

■カメラ設定

カメラCHごとにSDメモリー録画の録画レートを設定します。

録画レートを以下から設定します。

OFF : SDメモリー録画を行いません。

0.1 ips/0.5 ips/1 ips

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 録画レートを設定できるのは、SDメモリー録画に対応した機種であり、かつ圧縮方式が「M-JPEG」に設定されたカメラのみです。
- SDメモリー録画の録画レートは、ライブ配信レートよりも小さい値を設定してください。
- DG-NT304/DG-NT314ではSDメモリー録画の録画レートを0.5 ips/1 ipsに設定すると、0.2 ipsで録画します。
- SDメモリー録画の録画レートを設定する場合は、必ずカメラ側の設定も「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定してください。カメラ側でSDメモリーカードを「使用しない」に設定した場合やSDメモリーカードが挿入されていない場合（挿入不良を含む）、1日に数回エラーメッセージが表示され、その際に約20秒間録画されないことがあります。また、カメラのファームバージョンが古い場合も同様の現象が起きますので、その場合は対応バージョンにバージョンアップしてください。

メモ

- 録音とSDメモリー録画は同時に行えません。録音を「ON」に設定すると、そのカメラCHのSDメモリー録画の録画レートは自動的に「OFF」に設定されます。
- イベント・プレ録画の設定は、以下の表を参考に設定してください。

接続カメラ台数9台、PC台数2台によるウェブブラウザーを使った場合の運用の場合

プレ録画レート	JPEG解像度／画質 VGA／24 KB相当	JPEG解像度／画質 VGA／48 KB相当	JPEG解像度／画質 VGA／128 KB相当
3 ips	30 s	20 s	10 s
5 ips	20 s	10 s	5 s
10 ips	10 s	5 s	2 s

SDメモリー録画について

SDメモリー録画とは、本機に設定されているプログラムの時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存しておくというカメラ側の機能です。

例えば、SDメモリー録画の録画レートを「0.1 ips」に設定した場合、スケジュール時間内に10秒以上（0.1 ips相当※）、本機からカメラへ画像要求が無いと、カメラはSDメモリーカードに録画を行います。

※カメラ側でSDメモリーカードへの録画が開始されるまでの時間は、録画レートの設定によって変わります。

本機はSDメモリーカードに録画された画像を取得し、HDDに録画します。

SDメモリーデータ取得は以下のタイミングで行います。SDメモリーデータ取得中かどうかを「ステータス表示部」で確認することができます。

- ・毎時15分(0:15, 1:15, …… 23:15)
- ・スケジュール録画終了時、次の録画開始までの空き時間が30分以上ある場合
(この場合はすべてのユーザーが強制的にログアウトされます。)

スケジュール終了時にSDメモリーデータ取得を行う場合は、すべてのユーザーが強制的にログアウトされます。

SDメモリーデータは[SDメモリーデータ取得]ボタンをクリックして手動で取得することもできます。手動取得の方法については取扱説明書 操作編 (PDFファイル) をお読みください。

!!重要!!

- 緊急録画中にカメラとの通信ができなくなった場合、「緊急録画設定」で設定されたSDメモリー録画の録画レート (34ページ) でSDメモリーカードに録画されます。
- カメラと通信できていない状態で、スケジュールの開始時間になった場合や、緊急録画入力があった場合は、SDメモリーカードには録画されません。
- 複数のネットワークディスクレコーダーで同一のカメラに対して、SD録画レートを設定しないでください。
- 本機の時刻とカメラの時刻は、NTP機能を利用するなどして、合わせてください。時刻が合っていない場合、SDメモリー録画できない場合があります。
- 取得したSDメモリーデータの録画時刻は録画した時点のカメラ側の時刻になります。

セットアップメニュー（つづき）

メモ

- スケジュールのタイムテーブル間の時間や画像の総容量によっては、すべての画像をSDメモリーカードから取得できない場合があります。取得できなかった画像は、次回取得時に取得できます。
- SDメモリーデータ取得時、以下の状態の場合、取得は実行されません。
再生中／HTTPダウンロード中／緊急録画中／外部録画中
- SDメモリーデータ取得中に以下の動作が発生した場合、取得は中断されます。
ログイン／緊急録画／外部録画／サマータイム切り替え

【測定】 ボタン

クリックすると、設定した各レートが使用中のネットワーク上で動作するかどうかの参考値を確認することができます。測定には約90秒かかります。この間は録画は停止します。レート設定値が赤く表示された場合、設定したレートで画像を配信・録画できない場合があります。

測定結果（各カメラの最大速度の合計値）が本機のネットワーク速度の最大値（30 Mbps目安）以内に収まっていることかどうかを確認してください。

- 測定結果が本機のネットワーク速度の最大値より大きい場合（例 30 Mbps < 50 Mbps）
測定結果が30 Mbps（目安）を超えている場合、ライブ配信・マニュアル録画・スケジュール録画・イベント録画の各レートを比べ、値の大きいほうの設定を下げる、またはカメラの画質を下げるなど、カメラのネットワーク配信量を下げる設定を行い、再度測定してください。測定結果が30 Mbps（目安）を超えない設定にしてください。

!!重要!!

- 測定結果が本機のネットワーク速度より大きい場合、ネットワークのトラフィック過多により、録画画像／ライブ画像の取りこぼし、アラームなどの取りこぼし、操作性レスポンスの低下などが発生することがあります。（ネットワーク速度の目安 30 Mbps）
- ネットワーク速度の目安（30 Mbps）を超えない場合でも、接続されているカメラやPCの台数によって、上記の現象が発生することがあります。各レートの設定は、以下の表を参考に設定してください。
- 環境によってネットワークのトラフィック量は増減します。測定結果がネットワーク速度の最大値に対して余裕があるように設定してください。

JPEG解像度／画質	接続カメラ台数	ライブ配信レート	録画レート	PC台数
VGA／40 KB相当	9台	10 ips ※	10 ips	2
VGA／40 KB相当	16台	10 ips ※	5 ips	2

※ PCの表示画面の合計数が5画面以上になると、録画を優先するため、ライブ配信レートの制御を行います。

メモ

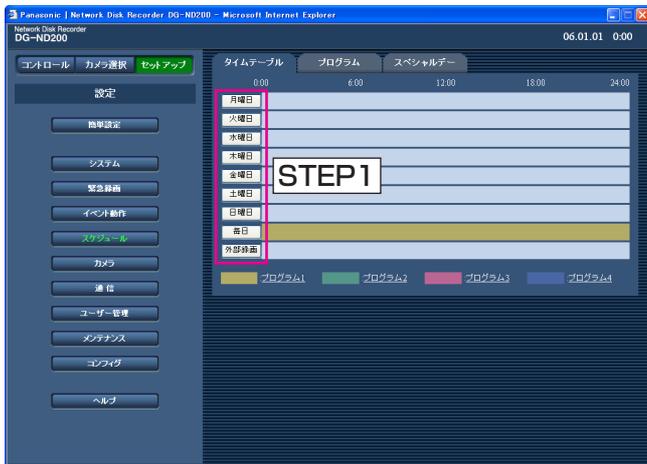
- 測定の対象になるのは「設定保存」ボタンをクリックしたあとの設定値です。
- 測定中は設定を変更しないでください。
- 測定中は、録画・再生・ライブ配信も停止します。本機へ接続している他のユーザーは自動的にログアウトされますので、測定終了後に再度、ログインしてください。
- 測定結果は参考値です。ネットワーク環境の状態によって変化することがあります。
- 本機はネットワークを使用しているため、ネットワークトラフィックやその他の要因により、設定どおりにライブ配信・録画動作を行うことができない場合やブラウザーのレスポンスが遅くなったり、接続が切断される場合があります。また、本機を使用中、不具合により録画されない場合もあります。その内容補償はいたしかねますのでご了承ください。

時間帯を設定し、プログラムを割り当てる [タイムテーブル]

曜日ごとに1日の録画動作の時間帯（タイムテーブル）を設定し、各タイムテーブルに動作するプログラムを割り当てます。曜日ごとにタイムテーブルは6つまで作成できます。

画面1

[スケジュール] ボタンをクリックし、サブメニューの [タイムテーブル] タブをクリックして、タイムテーブル画面を表示します。



STEP1

設定したい曜日をクリックします。

メモ

- 本機後面のアラーム／コントロール端子（外部録画モード切り替え④）から信号が入力されている間、「外部録画」のタイムテーブルで動作します。
- 画面下のプログラム名をクリックすると、プログラム設定画面（※39ページ）を表示することができます。

画面2

選択した曜日のタイムテーブルが表示されます。



STEP2

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

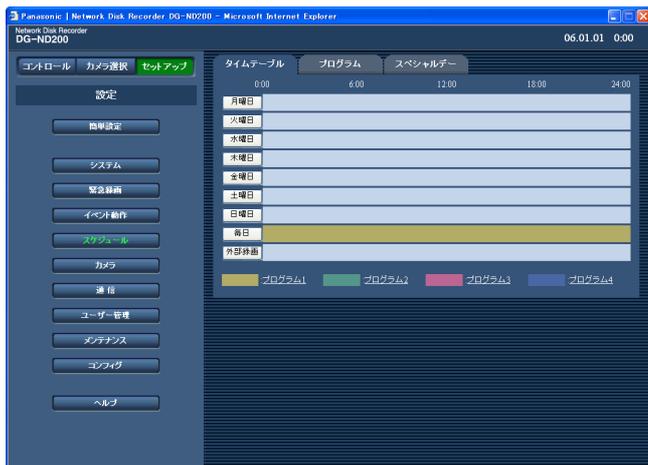
STEP3

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックし、右上の [×] ボタンをクリックして画面を閉じます。

セットアップメニュー（つづき）

画面3

タイムテーブル画面に戻ります。



STEP4

設定したタイムテーブルとプログラムが反映されます。プログラムは色分けして表示されています。
プログラム1：黄色　プログラム2：緑色
プログラム3：薄紫　プログラム4：濃青

設定項目について

■他曜日の設定をコピー

他の曜日で設定されているタイムテーブルをコピーしたい場合は、曜日を選択し、[コピー] ボタンをクリックします。

■プログラム設定

プログラムを選択し [表示] ボタンをクリックすると、プログラム設定画面を表示し、プログラムの設定を変更することができます。

■個別設定

1つの時間帯ごとに以下の項目を設定します。

【開始時刻】

時間帯の開始時刻を設定します。

【終了時刻】

時間帯の終了時刻を設定します。

【プログラム】

動作させたいプログラムを選択します。

【FTP定期送信】

セットアップメニュー [通信] - [FTP設定] - 「定期送信」の設定 (☞58ページ) に従って、FTPサーバーへ定期的に画像を送付するかをON/OFFで設定します。

【FTPアラーム送信】

イベント発生時、FTPサーバーへアラーム発生場所の画像を送付するかをON/OFFで設定します。(☞59ページ)

【アラームメッセージ】

イベント発生時、ウェブブラウザにイベントの発生を通知するポップアップ画面を表示するかをON/OFFで設定します。

【独自アラーム通知】

イベントやエラー発生時、セットアップメニュー [通信] - [独自アラーム通知] の設定 (☞61ページ) に従って、発生したイベント情報をPCに自動的に通知するかをON/OFFで設定します。発生したイベント情報を受信し、内容を表示するためには専用ソフトウェア（別売り）が必要になります。

【アラームメール】

イベント発生時、アラームメールを送信するかをON/OFFで設定します。メールサーバーアドレスや送信先メールアドレスなどメール送信機能を使用するための設定については60ページをお読みください。また、アラームメールの内容については取扱説明書 操作編 (PDFファイル) をお読みください。

メモ

- 開始時刻・終了時刻は1分単位で設定できます。ただし、開始時刻・終了時刻の間隔を15分より短く設定することはできません。
- 開始時刻に「23:46」以降は設定できません。
- 他の曜日で設定されているタイムテーブルをコピーしたい場合は、STEP2で「他曜日の設定をコピー」ボックスで曜日を選択し、[コピー] ボタンをクリックします。
- 複数の曜日を設定する場合は、STEP1～4を繰り返し操作します。

特定日のタイムテーブルを設定する [スペシャルデー]

特定日として個別に別の曜日のタイムテーブルを割り当てます。特定日は30日分設定できます。特定日として設定したい日付と、動作させたいタイムテーブルの曜日を設定します。

画面1

[スケジュール] ボタンをクリックし、サブメニューの [スペシャルデー] タブをクリックして、スペシャルデー設定画面を表示します。



STEP1

[V] ボタンをクリックして、特定日として設定したい日付と動作させたいプログラムの曜日を選択します。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

メモ

- 個別の曜日、毎日、スペシャルデーのプログラム、外部録画入力重複している場合、実行されるプログラムの優先順位は外部録画→スペシャルデー→曜日→毎日となります。
- タイムテーブルで時間が設定されていない曜日はスペシャルデーの曜日設定では表示されません。

カメラに関する設定 [カメラ]

カメラのアドレスやポート番号などのネットワークに関する設定とグループ設定、またシーケンス動作に関する設定を行います。

カメラのネットワークに関する設定を行う [NWカメラ設定]

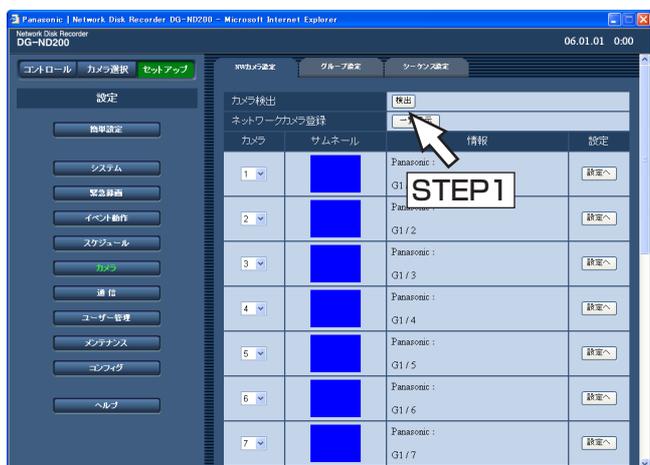
カメラのアドレスやポート番号などカメラのネットワーク設定を行います。

本機に接続しているカメラを自動検出し設定を行う場合と、個別に手動で設定を行う場合で、設定のしかたが異なります。

カメラを自動検出し設定を行う

画面1

[カメラ] ボタンをクリックし、サブメニューの [NWカメラ設定] タブをクリックして、ネットワークカメラ設定画面を表示します。



STEP1

「カメラ検出」の [検出] ボタンをクリックし、本機で認識するカメラを検出します。

メモ

- カメラ検出を行うと、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- カメラ検出の動作実行中は、本機でも録画はすべて停止します。
- カメラ検出はルーターを経由した異なるサブネットのカメラには使用できません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、初期値の設定から変更すると、電源投入後の20分しか検出されません。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

画面2

カメラが検出され、検出結果画面が表示されます。



STEP2

検出したカメラのネットワーク設定を行います。本機に登録するカメラにチェックを入れ、各項目を設定します。各項目の設定内容など次ページの「設定項目について」をお読みください。

メモ

- 検出結果画面でIPアドレスが同じカメラはIPアドレスとMACアドレスが赤く表示されます。その場合は、IPアドレスが重複しないように設定してください。

STEP3

[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■カメラ検出

[検出] ボタンをクリックすると、カメラを検出します。

[カメラ品番]

検出したカメラの品番を表示します。

[MACアドレス]

検出したカメラのMACアドレスを表示します。

[IPアドレス]

検出したカメラのIPアドレスを表示します。

[設定するIPアドレス]

検出したカメラに設定するIPアドレスを入力します。

[DHCP]

検出したカメラのDHCP設定を表示／設定します。

■IPアドレス変更

IPアドレスを変更したいカメラにチェックを入れて [実行] ボタンをクリックすると、[設定するIPアドレス] に入力された値に、カメラのIPアドレスが変更されます。

■スタートアドレス

カメラにIPアドレスを自動付与する場合、付与するIPアドレスのスタートとなるIPアドレスを入力します。IPアドレスを自動付与したいカメラにチェックを入れて [実行] ボタンをクリックすると、カメラにIPアドレスを自動付与します。

カメラを個別に手動で設定を行う

画面1

[カメラ] ボタンをクリックし、サブメニューの [NWカメラ設定] タブをクリックして、ネットワークカメラ設定画面を表示します。



メモ

- IPアドレスを自動付与する場合、ネットワークポートのサブネットマスクは「255.255.255.0」を使用してください。
- 登録されたカメラの圧縮方式は、自動的にJPEG方式、またはM-JPEG方式に設定されます。
- カメラにIPアドレスを登録すると、カメラのHTTPポート番号は自動的に「80」に設定されます。また、カメラの「サブネットマスク」「ゲートウェイ」は本機のネットワークポートの「サブネットマスク」「ゲートウェイ」と同じ値に設定されます。
- IPアドレス変更の [実行] ボタンをクリックし、カメラのIPアドレスを変更すると、カメラの検出結果の画面で検出された1～16のカメラにチェックが入ります。
- 「スタートアドレス」を実行した場合、本機は空きIPアドレスを自動で検出して設定しますが、お使いのネットワーク環境によっては、他の機器とIPアドレスが重複してしまうことがあります（Windows XPのファイアウォール機能を使用している場合など）。他の機器とIPアドレスが重複してしまう場合は、IPアドレスを確認し、手動登録してください。また、空きIPアドレスが無い旨の画面が表示される場合は、設定を確認して空きIPアドレスに手動登録してください。
- 本機のDHCP設定が「OFF」の場合のみ、スタートアドレスの実行が可能です。

STEP 1

「ネットワークカメラ登録」の [一覧表示] ボタンをクリックします。

セットアップメニュー（つづき）

画面2

ネットワークカメラ登録画面が表示されます。



STEP3

STEP2

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP3

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックし、右上の [×] ボタンをクリックして画面を閉じます。

設定項目について

[メーカー]

カメラのメーカーを選択します。

[カメラ品番/圧縮方式]

カメラの品番と画像の圧縮方式を選択します。

メモ

- 圧縮方式を変更すると、ライブ画配信・録画に関するレート設定が自動的に変更されます。
MPEG-4からJPEGやM-JPEGへ変更した場合、「1 ips」に変更されます。
JPEG、M-JPEGからMPEG-4へ変更した場合、「I-Frame」に変更されます。

[アドレス]

カメラのアドレスを入力します。半角英数字255文字以内で設定します。

[ポート番号]

カメラが使用するHTTPポート番号を入力します。1～65535の範囲内で入力できます。

[グループ]

カメラが所属するグループ（G1～G4）を選択します。

[カメラタイトル]

[カメラ選択] ボタンなどに表示されるカメラタイトルを入力します。半角英数字/記号16文字以内（ただし以下の文字を除く「! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~」）、または全角16文字以内で入力します。

[ユーザー名]

カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名を入力します。半角英数字32文字以内で入力します。

[パスワード]

カメラにアクセスし、ログインするためのパスワードを入力します。半角英数字32文字以内で入力します。

登録したカメラのネットワーク設定内容を個別に変更する

画面1

[カメラ] ボタンをクリックし、サブメニューの [NWカメラ設定] タブをクリックして、ネットワークカメラ設定画面を表示します。



STEP1

STEP1

設定したカメラの以下の設定内容が表示されます。

■カメラ

カメラ順番の入れ替えを行います。

カメラを自動検出し、本機にカメラ登録した場合などに、カメラ順番を入れ替えたい時に使用します。

カメラの順番を入れ替えたら [設定保存] ボタンをクリックします。

!!重要!!

●カメラ順番を入れ替えた場合、以下の設定項目のカメラ順番も自動的に入れ替えを行います。

- ・ [緊急録画] - [緊急録画設定]
- ・ [スケジュール] - [プログラム設定]
- ・ [メンテナンス] - [ネットワーク情報]

■サムネール

カメラのサムネールを表示します。

■情報

カメラのメーカー、品番/圧縮方式、アドレス、グループタイトル、カメラタイトルを表示します。

STEP2

設定を変更したいカメラの [設定へ] ボタンをクリックします。

メモ

- 設定したカメラを取り外すと、「CONNECT ERROR」と表示されます。その場合、ネットワークカメラ登録画面で取り外したカメラの「カメラ品番/圧縮方式」を「-」に設定してください。

メモ

- カメラとの接続ができない場合、サムネールにその要因が表示されます。主な表示内容は以下になります。
CONNECT ERROR : カメラとの通信がとれていません。
ATTEST ERROR : カメラのユーザー認証に失敗しています。
DNS ERROR : DNSサーバーがカメラのアドレスを解決できません。
CAMERA ERROR : カメラからの応答が正しくありません。
PROXY(CONNECT) ERROR :
プロキシサーバーと接続できません。
PROXY(DNS) ERROR :
プロキシサーバーのアドレスを解決できません。
PROXY(CAMERA) ERROR :
プロキシサーバーからの応答が正しくありません。

セットアップメニュー（つづき）

画面2

ネットワークカメラ登録画面が表示されます。



STEP4

STEP3

各項目を設定します。
各項目の設定内容はネットワークカメラ登録画面と同じです。48ページをお読みください。

STEP4

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

カメラのグループタイトルを設定する [グループ設定]

カメラのグループタイトルを設定します。

画面1

[カメラ] ボタンをクリックし、サブメニューの [グループ設定] タブをクリックして、グループ設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

カメラのグループタイトルを入力します。半角英数字／記号16文字以内（ただし以下の文字を除く「! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~」）、または全角16文字以内で入力します。
使用できる文字はカメラタイトルと同じです。

STEP2

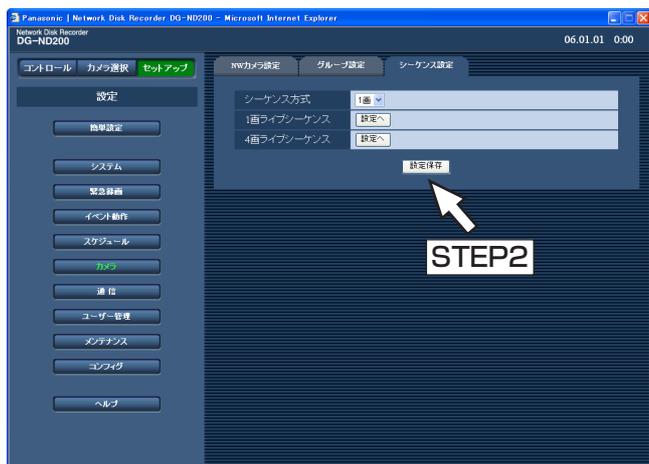
設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

カメラのシーケンス動作を設定する [シーケンス設定]

カメラのシーケンス動作を設定します。

画面1

[カメラ] ボタンをクリックし、サブメニューの [シーケンス設定] タブをクリックして、シーケンス設定画面を表示します。



設定項目について

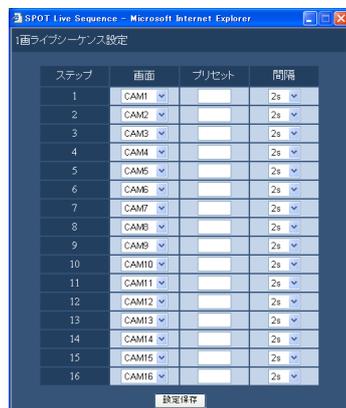
【シーケンス方式】

シーケンス動作の画面数を1画/4画のどちらかで設定します。

お買い上げ時の設定：1画

【1画ライブシーケンス】 【4画ライブシーケンス】

選択したシーケンス方式の [設定へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示され、各項目を設定します。設定したら、[設定保存] ボタンをクリックし設定したら、右上の [X] ボタンをクリックして画面を閉じます。



メモ

- 選択したカメラCHに設定されたカメラ画像の圧縮方式がMPEG-4の場合、シーケンスステップはスキップされます。

STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。



【画面】

各ステップごとに、表示するカメラ画像を以下から選択します。

- : スキップします。
- CAM1~16 (1画ライブシーケンス設定時)
 - : 選択したカメラCHの画像をステップ1から順に切り替えて、1画面でシーケンス表示します。
- 4A~4D (4画ライブシーケンス設定時)
 - : あらかじめ設定された4つのCHの4画設定 (4A~4D) の画像をステップ1から順に切り替えて、4画面でシーケンス表示します。
 - 4画表示の設定は [システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定] で行います (P.30ページ)。

【プリセット】

ステップが切り替わったときに移動するカメラのプリセットポジションを入力します (1画ライブシーケンス設定時のみ)。1~256までの値で設定します。空白の場合、プリセットポジションへの移動は行いません。

【間隔】

次のシーケンスステップに切り替わるまでの時間を、以下から設定します。

2 s / 3 s / 5 s / 10 s / 20 s

お買い上げ時の設定：2 s

他の機器との通信に関する設定 [通信]

本機のIPアドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークに関する設定を行います。
ここでは、PCとの通信に必要な設定を行います。

ネットワークに関する基本設定を行う [基本設定]

本機のネットワークに関する基本設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。



STEP2

設定項目について

■NWリンク外れ検出

本機後面のネットワーク回線が切断していないかを検出するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : ネットワーク回線が切断しているかどうかを検出します。

OFF : ネットワーク回線が切断しているかどうかを検出しません。

お買い上げ時の設定 : OFF

■配信量制御

ネットワークへ配信するデータの最大レートを以下から設定します。

制限なし / 32 Kbps / 64 Kbps / 128 Kbps /
256 Kbps / 512 Kbps / 1 024 Kbps / 2
Mbps / 5 Mbps / 10 Mbps

お買い上げ時の設定 : 制限なし

STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- MPEG-4のライブ画像は配信量が制御されません。

■HTTPポート番号

本機が画像を配信するとき使用するHTTPポート番号を入力します。1~65535の範囲内で入力できます。通常は変更する必要はありません。

メモ

- LAN、インターネットプロバイダーのネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とFTPポート番号に設定されている番号、サイトアラーム設定のポート番号をHTTPポート番号に設定することはできません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

■FTPポート番号

本機のFTPポート番号を入力します。

メモ

- 以下の番号とサイトアラーム設定のポート番号、HTTPポート番号に設定されている番号をFTPポート番号に設定することはできません。

20、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

■ポート設定

各ポート（ネットワークポート、メンテナンスポート）ごとに以下の項目を設定します。

【DHCP】

DHCPサーバーを使用するかどうかをON/OFFで設定します。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPサーバーから取得する場合、「ON」に設定します。これらのアドレスを手動で入力する場合は「OFF」に設定します。

ON : DHCPサーバーを使用します。

OFF : DHCPサーバーを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

!!重要!!

- 各ポートの設定は必ず異なるサブネット領域となるように設定してください。
- DHCPを「ON」に設定した場合、「SDメモリー録画」を設定すると、起動時にカメラのSDメモリーデータへの書き込み要求に失敗する場合があります。これはDHCPサーバーからの応答が遅い場合に起こりますが、DHCPサーバーからのアドレスを取得できると障害は復旧します。

【IPアドレス】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、IPアドレスを入力します。ネットワークの規則に従って0~255までの10進数を4つに区切って入力します。

【サブネットマスク】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってネットマスクを入力します。

【ゲートウェイ】

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

【通信速度】

データの通信速度を設定します。

- AUTO : 自動設定します。
- 10-HALF : 10 Mbps半二重
- 10-FULL : 10 Mbps全二重
- 100-HALF : 100 Mbps半二重
- 100-FULL : 100 Mbps全二重

お買い上げ時の設定：AUTO

!!重要!!

- すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度が一致するように設定してください。
推奨通信速度：100M bps-FULL
例えば、HUB側の通信速度が「AUTO」でレコーダー側が「100M bps-FULL」の場合、正しく画像を表示・記録・再生できない場合があります。

メモ

- 通信速度の設定を変更して設定保存すると、本機は再起動します。

■DNS設定

DNSを使用してホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにするときは、「MANUAL」または「AUTO」に設定します。DNSを使用しないときは「OFF」に設定します。

「AUTO」はネットワークポートの「DHCP」の設定が「ON」の場合のみ設定できます。

「MANUAL」は「DHCP」の設定が「ON」または「OFF」どちらでも設定できます。

「MANUAL」に設定した場合、「プライマリアドレス」と「セカンダリアドレス」にDNSサーバーのサーバーアドレスの入力が必要です。ネットワークの規則に従って半角数字0~255で入力します。

お買い上げ時の設定：OFF

■ドメイン名

本機のドメイン名を入力します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入力してください。

メモ

- ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。

セットアップメニュー（つづき）

DDNSに関する基本設定を行う [DDNS設定]

本機のネットワークのDDNSに関する基本設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [DDNS設定] タブをクリックして、DDNS設定画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■DDNS

DDNS (Dynamic Domain Name System) を使用するかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定した場合、以下を設定します。

お買い上げ時の設定：OFF

■ユーザー名

DDNS に登録されているユーザー名を入力します。

入力は下表の半角英数字／記号32文字以内にしてください。

■パスワード

ユーザー名に入力したユーザーのパスワードを入力します。

入力は下表の半角英数字／記号32文字以内にしてください。

メモ

- 以下の半角英数字／記号が入力できます。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s
t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # \$ %
() * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

「¥」文字は「\」（バックスラッシュ）で表示されます。

■アクセス間隔

DDNSを更新する間隔を以下から選択します。

10 min / 30 min / 1 h / 6 h / 24 h

お買い上げ時の設定：1 h

■ホスト名

DDNSに登録したホスト名を入力します。入力は半角英数字（ハイフン (-)、ピリオド (.) 含む）255文字以内にしてください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

プロキシサーバーに関する基本設定を行う【プロキシ設定】

本機のネットワークのプロキシに関する基本設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [プロキシ設定] タブをクリックして、プロキシ設定画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■プロキシ

プロキシサーバーを使用するかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定した場合、以下を設定します。

■サーバーアドレス

プロキシサーバーのアドレスを入力します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入してください。

■ポート番号

プロキシサーバーのポート番号を入力します。

■プロキシ除外リスト

プロキシを使わないカメラを入力します。

ネットワークカメラで設定されているアドレスを入力します。入力は半角英数字（アスタリスク(*)、ピリオド(.)、セミコロン (;) 含む）128文字以内に入してください。

メモ

- 複数のカメラを除外する場合、カメラのアドレスはセミコロン (;) で区切ります。
- 「*」を入力するとすべての数字が有効となります。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

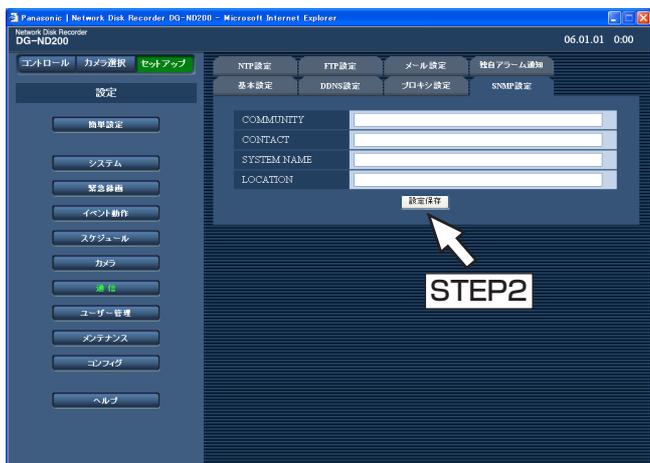
セットアップメニュー（つづき）

SNMPネットワークに関する設定を行う【SNMP設定】

SNMPに関する設定を行います。SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。

画面1

〔通信〕 ボタンをクリックし、サブメニューの〔SNMP設定〕 タブをクリックして、SNMP設定画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■COMMUNITY

SNMP認証に使用する名前を入力します。入力は半角英数字／記号32文字以内にしてください。

■CONTACT

本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します。入力は半角英数字／記号255文字以内にしてください。

■SYSTEM NAME

本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します（例：No1）。入力は半角英数字／記号255文字以内にしてください。

■LOCATION

本機の設置場所を入力します（例：2F）。入力は半角英数字／記号255文字以内にしてください。

STEP2

設定したら、〔設定保存〕 ボタンをクリックします。

メモ

- 以下の半角英数字／記号が入力できます。
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # \$ % & ' ()
* + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
「¥」文字は「\」（バックスラッシュ）で表示され
ます。

ネットワークの時刻合わせに関する設定を行う [NTP設定]

時刻設定に関する設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [NTP設定] タブをクリックして、NTP設定画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■NTP自動時刻合わせ

NTPサーバーを基準に時刻を調節するかどうかをON/OFFで設定します。

お買い上げ時の設定：OFF

■NTPサーバーアドレス

NTPサーバーを使って時刻設定を行う場合、NTPサーバーのアドレスを入力します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

■時刻間、合わせ方法

NTPサーバーへ時刻を問い合わせる方法を以下から設定します。

定期的：定期的に問い合わせます。

時刻指定：1日1回指定した時刻に問い合わせます。

お買い上げ時の設定：定期的

[問い合わせ間隔]

「定期的」を選択した場合、問い合わせ間隔を以下から設定します。

1 h / 2 h / 6 h / 12 h / 24 h

お買い上げ時の設定：1 h

[問い合わせ時刻]

「時刻指定」を選択した場合、問い合わせる時刻を設定します。時・分の数値を選択します。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

メモ

- 「NTP自動時刻合わせ」はNTPサーバーから±5秒以上、本機の時刻がずれていた場合に行われず。
- 緊急録画中、イベント録画中は、「NTP自動時刻合わせ」は動作しません。

NTPサーバー機能について

- 本機はカメラに対してのNTPサーバーとして動作させることができます。カメラ側で設定するポート番号は「123」を設定してください。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をお読みください。
- サブネットが異なるカメラからのNTP時刻合わせはできません。

セットアップメニュー（つづき）

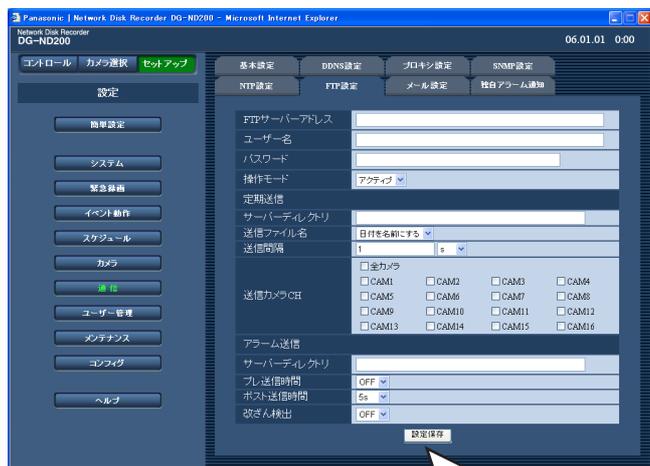
FTPサーバーに関する設定を行う【FTP設定】

FTPサーバーに関する設定を行います。

本機に接続されたカメラの画像を指定したFTPサーバーに送信するよう設定したい場合、このFTP設定で必要な設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [FTP設定] タブをクリックして、FTP設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■FTPサーバーアドレス

画像送信先となるFTPサーバーのアドレスを入力します。FTPサーバー名は、DNS設定を「MANUAL」または「AUTO」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

■ユーザー名

FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名(ログイン名)を入力します。入力は次ページの半角英数字／記号（&、(スペース)を除く）32文字以内にしてください。

■パスワード

FTPサーバーに画像を送信するときのパスワードを入力します。入力は次ページの半角英数字／記号（&を除く）32文字以内にしてください。

画面上は「*」または「●」で表示されます。

■操作モード

FTPサーバーに画像を送信するときのモードを選択します。「アクティブ」で送信できないときは「パッシブ」に変更してください。

お買い上げ時の設定：アクティブ

「定期送信」

ライブ画像を定期的送信する場合に以下の項目を設定します。ライブ画像をFTPサーバーへ送信する／しないの設定はタイムテーブル（☞43ページ）で時間帯ごとに設定します。

■サーバーディレクトリ

送信先のディレクトリを入力します。入力は次ページの半角英数字／記号（& * : < > ? ¥ | ~ (スペース)を除く）255文字以内にしてください。

■送信ファイル名

画像送信時のファイル名の規則を設定します。「日付を名前にする」または「番号を名前にする」のどちらかを選択します。

お買い上げ時の設定：日付を名前にする

■送信間隔

定期送信する間隔を入力します。数字の入力は半角数字1～1440にしてください。単位は「s」(秒)または「min」(分)を選択します。

お買い上げ時の設定：1 s

■送信カメラCH

定期的に画像を送信するカメラCHを選択します。チェックしたカメラの画像がFTPサーバーに送信されます。

メモ

- 選択したカメラCHに設定されたカメラ画像の圧縮方式がMPEG-4の場合、定期送信はされません。

「アラーム送信」

イベント発生時にアラーム発生場所の画像を送信するよう設定する場合に以下の項目を設定します。アラーム発生場所の画像をFTPサーバーへ送信する／しないの設定は、タイムテーブル (43ページ) で時間帯ごとに設定します。

■サーバーディレクトリ

送信先のディレクトリを入力します。入力は以下の半角英数字／記号 (& * : < > ? ¥ | ~ (スペース) を除く) 255文字以内に入力してください。

メモ

- 以下の半角英数字／記号が入力できます。
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s
t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # \$ %
() + , - . / ; = @ [] ^ _ ` { }

■プレ送信時間※

送信するプレ録画画像の時間を以下から設定します。
OFF / 1 s ~ 10 s (1秒単位に設定可)
お買い上げ時の設定 : OFF

!!重要!!

- イベント・プレ録画が行われていない場合は、プレ録画画像が送信されません。プレ録画画像を送信したい場合は、イベント・プレ録画を行う設定にしてください。イベント・プレ録画の設定については39ページをお読みください。

■ポスト送信時間※

ポスト録画画像の送信時間を以下から設定します。
OFF / 1 s ~ 10 s (1秒単位に設定可)
お買い上げ時の設定 : 5 s

メモ

緊急録画で記録した画像をFTPサーバーへ送信することができます。FTPサーバーへ送信されるカメラCHと画像、画像の送信先は次のとおりです。

- 送信されるカメラCH
: 緊急録画が行われたカメラCH
- 送信される記録画像
: 緊急録画開始から「ポスト送信時間」で設定された時間分の記録画像
- 画像の送信先
: 「FTPサーバーアドレス」で設定されたFTPサーバーの「アラーム送信」 - 「サーバーディレクトリ」で設定されたディレクトリ

※送信するカメラCHに設定されたカメラの圧縮方式がMPEG-4の場合、「プレ送信時間」および「ポスト送信時間」で設定された時間どおりの画像をFTPサーバーに送信できないことがあります。

■改ざん検出

アラーム送信の際、ビューワーソフトで改ざん検出するためのデータを付けるかどうかをON/OFFで設定します。
お買い上げ時の設定 : OFF

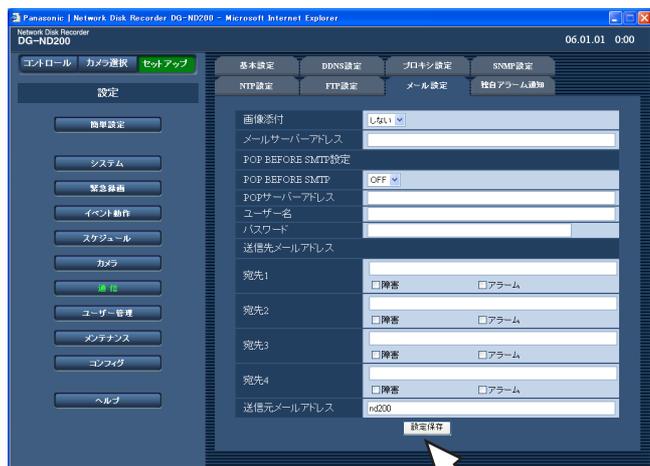
セットアップメニュー（つづき）

メール通知に関する設定を行う【メール設定】

アラームメール／障害メール通知（取扱説明書 操作編（PDFファイル））を使用するための設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [メール設定] タブをクリックして、メール設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

各項目を設定します。
各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■画像添付

イベント発生時の画像を電子メールに添付するかどうかを「する」／「しない」で設定します。

お買い上げ時の設定：しない

メモ

- 送信するカメラ画像に設定された圧縮方式がMPEG-4の場合、画像は添付されません。
- 「する」に設定した場合でも、イベント録画の録画レートが「OFF」の場合は画像が添付されません。

■メールサーバーアドレス

電子メールを送信するSMTPサーバーのアドレスを入力します。SMTPサーバー名は、DNS設定で「MANUAL」または「AUTO」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入力してください。

■POP BEFORE SMTP

電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。「ON」に設定した場合、以下の項目を設定します。

■POPサーバーアドレス

電子メールを受信するPOPサーバーのアドレスを入力します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入力してください。

■ユーザー名

POPサーバーにアクセスするためのユーザー名(ログイン名)を入力します。入力は次ページの半角英数字／記号（&、(スペース)を除く）32文字以内に入力してください。

■パスワード

POPサーバーにアクセスするためのパスワードを設定します。入力は次ページの半角英数字／記号（&、(スペース)を除く）32文字以内に入力してください。画面上は「*」または「●」で表示されます。

■送信先メールアドレス

アラームメール、障害メールの送信先メールアドレスを設定します。宛先1～4にメールアドレスを入力します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）255文字以内に入力してください。

送信先として4件まで設定できます。

また、送信したいメール種別（障害／アラーム）にチェックを入れます。

■送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom（差出人）欄に表示されます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）127文字以内に入力してください。

メモ

●以下の半角英数字／記号が入力できます。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # \$ % & ' ()
* + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
「¥」文字は「\」（バックスラッシュ）で表示されま
す。

アラームの独自通知設定を行う [独自アラーム通知]

イベントやエラー発生時、発生したイベントやエラー情報をPCに通知するための設定を行います。

画面1

[通信] ボタンをクリックし、サブメニューの [独自アラーム通知] タブをクリックして、独自アラーム通知画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■ポート番号 (ND200→PC)

PCに独自アラーム通知を送信するポート番号を入力します。

■リトライ回数

PCが独自アラーム通知を受信できなかった場合に、送信をリトライする回数を設定します。

お買い上げ時の設定：2

■送信先アドレス

送信先のPCのアドレスを入力します。宛先1～4にIPアドレスまたはホスト名を入力します。

送信先として4件まで設定できます。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、_を含む）255文字以内に入力してください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

認証に関する設定 [ユーザー管理]

PCから本機にアクセスする際のユーザー認証／ホスト認証の設定を行います。本機にアクセスできるユーザーやホスト（PC）をあらかじめ登録しておき、認証の設定をONにすると、本機にアクセスできるユーザーやホスト（PC）を制限することができます。

ユーザー認証とホスト認証を行うかどうかを設定する [基本設定]

ユーザー認証とホスト認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。

画面1

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、サブメニューの [基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。



STEP1

以下の項目を設定します。

■ユーザー認証

ユーザー認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。

お買い上げ時の設定：ON

■ホスト認証

ホスト認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。

お買い上げ時の設定：OFF

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- ホスト認証はホストが登録されていないとONに設定できません。

登録した管理者情報を修正する [管理者設定]

管理者名や管理者のパスワードなど、登録した管理者情報を修正します。

画面1

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、サブメニューの [管理者設定] タブをクリックして、管理者設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。
各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

!! 重要 !!

- 管理者情報の修正は管理者でログインしているときしか行えません。
- 管理者名、パスワードが変更されていない場合、ログイン後にパスワード変更を促すメッセージ画面が表示されます。

設定項目について

■ 管理者名

管理者名を変更します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で設定してください。

■ パスワード

パスワードを入力します。パスワードは半角英数字で4文字以上8文字以内で設定してください。

メモ

- パスワードはセキュリティを確保するために定期的に変更してください。

■ レベル

ユーザーレベル表示します。管理者は「LV1」に設定されており、変更できません。

■ 優先度

本機に複数のユーザーが同時にログインした場合の操作の優先順位を表示します。
管理者は優先順位は「0」に設定されており、変更できません。

■ スタートモニター

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を以下から設定します。

- CAM1～16 : 選択したカメラCHの画像を1画面で表示します。
- 4A～4D : あらかじめ設定された4つのCHの4画設定 (4A～4D) の画像を4画面で表示します。
4画表示の設定は [システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定] で行います (P.30ページ)。
- SEQ : カメラ画像をシーケンス表示します。
シーケンス動作の設定は [カメラ] - [シーケンス設定] で設定します。

お買い上げ時の設定 : CAM1

■ カメラパーティショニング

カメラCHごとに制御できる範囲を表示します。
管理者は「表示/操作」に設定されており、変更できません。
表示/操作 : ライブ・録画画像の表示、カメラの操作とも行えます。

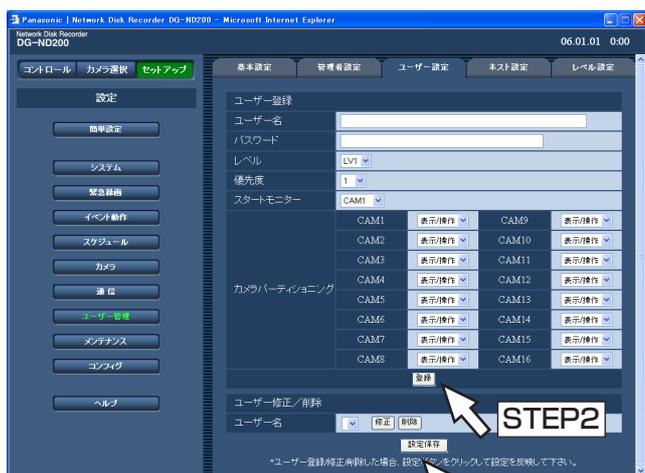
セットアップメニュー（つづき）

本機を使用するユーザーを登録・修正／削除する [ユーザー設定]

ユーザー名やパスワードの登録など、本機を使用するユーザーのユーザー情報を登録します。

画面1

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、サブメニューの [ユーザー設定] タブをクリックして、ユーザー設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。
各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[登録] ボタンをクリックします。

STEP3

[設定保存] ボタンをクリックして、設定を本機に反映させます。

!!重要!!

- ユーザー登録／修正／削除した場合は、必ず [設定保存] ボタンをクリックして、設定を本機に反映させてください。

メモ

- [登録] ボタンをクリックしても、他のユーザーはログアウトしません。

設定項目について

■ユーザー名

ユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字で4文字以上14文字以内で設定してください。ユーザーは32名まで登録できます。

■パスワード

パスワードを入力します。パスワードは半角英数字で4文字以上8文字以内で設定してください。

メモ

- パスワードは第三者が推測できないようなものにしてください。また、設定したパスワードは忘れないようにしてください。

■レベル

ユーザーレベルを以下から設定します。各レベルで操作できる機能についてはレベル設定 (67ページ) で設定します。

LV1/LV2/LV3/LV4

お買い上げ時の設定：LV1

■優先度

本機に複数のユーザーが同時にログインした場合の操作の優先度を1（優先度高）～8（優先度低）でレベル付けします。

お買い上げ時の設定：1

■スタートモニター

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を以下から設定します。

- CAM1～16 : 選択したカメラCHの画像を1画面で表示します。
- 4A～4D : あらかじめ設定された4つのCHの4画設定(4A～4D)の画像を4画面で表示します。
4画表示の設定は[システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定]で行います(☞30ページ)。
- SEQ : カメラ画像をシーケンス表示します。
シーケンス動作の設定は[カメラ] - [シーケンス設定]で設定します。

お買い上げ時の設定：CAM1

■カメラパーティショニング

カメラCHごとに制御できる範囲を以下から選択します。

- 表示/操作 : ライブ・録画画像の表示、カメラの操作とも行えます。
- 表示 : ライブ・録画画像の表示はできますが、カメラの操作は行えません。

--- : ライブ・録画画像の表示、カメラの操作とも行えません。

お買い上げ時の設定：表示/操作

■ユーザー修正/削除

登録したユーザー情報を修正、または、登録したユーザーを削除します。

[√] ボタンをクリックして、ユーザー情報を修正したい、または削除したいユーザーを選択します。ユーザー情報を修正/削除した場合は、[設定保存] ボタンをクリックします。

- ユーザー情報を修正する場合
[修正] ボタンをクリックします。ユーザー修正画面が表示され、登録されているユーザー情報が表示されます。ユーザー登録のときと同じ方法でユーザー情報を修正します。(☞64ページ)
- ユーザーを削除する場合
[削除] ボタンをクリックします。

本機にアクセスできるPC(ホスト)を登録・修正/削除する[ホスト設定]

LANなどのネットワークを経由して本機にアクセスするPC(ホスト)のホスト情報を登録します。ホストは32ホストまで登録できます。

画面1

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、サブメニューの[ホスト設定] タブをクリックして、ホスト設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。

各項目の設定内容など詳細は次ページの「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[登録] ボタンをクリックします。

STEP3

[設定保存] ボタンをクリックして、設定を本機に反映させます。

セットアップメニュー（つづき）

設定項目について

■ホストIPアドレス

ホストに登録するIPアドレスを入力します。ネットワークの規則に従って半角数字0～254で入力します。

メモ

- 「*」を入力するとすべての数字が有効となります。
- 「0.0.0.0」「*.*.*.*」は登録できません。

■レベル

ユーザーレベルを以下から設定します。各レベルで操作できる機能についてはレベル設定（☞67ページ）で設定します。

LV1/LV2/LV3/LV4

お買い上げ時の設定：LV1

■優先度

ホストの優先度を1（優先度高）～8（優先度低）でレベル付けします。

お買い上げ時の設定：1

■スタートモニター

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を以下から設定します。

CAM1～16 : 選択したカメラCHの画像を1画面で表示します。

4A～4D : あらかじめ設定された4つのCHの4画設定（4A～4D）の画像を4画面で表示します。

4画表示の設定は [システム] - [基本設定] - [モニター表示4画設定] で行います（☞30ページ）。

SEQ : カメラ画像をシーケンス表示します。シーケンス動作の設定は [カメラ] - [シーケンス設定] で設定します。

お買い上げ時の設定：CAM1

■カメラパーティショニング

カメラCHごとに制御できる範囲を以下から選択します。

表示/操作 : ライブ・録画画像の表示、カメラの操作とも行えます。

表示 : ライブ・録画画像の表示はできますが、カメラの操作は行えません。

— : ライブ・録画画像の表示、カメラの操作とも行えません。

お買い上げ時の設定：表示/操作

■ホスト修正/削除

登録したホスト情報を修正、または、登録したホストIPアドレスを削除します。

[√] ボタンをクリックして、ホスト情報を修正したい、または削除したいホストのIPアドレスを選択します。ホスト情報を修正/削除した場合は、[設定保存] ボタンをクリックします。

●ホスト情報を修正する場合

[修正] ボタンをクリックします。ホスト修正画面が表示され、登録されているホスト情報が表示されます。ホスト登録のときと同じ方法でホスト情報を修正します。（☞65ページ）

●ホストIPアドレスを削除する場合

[削除] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- ホスト登録/修正/削除した場合は、必ず [設定保存] ボタンをクリックして、設定を本機に反映させてください。

メモ

- [登録] ボタンをクリックしても、他のユーザーはログアウトしません。

操作レベルを設定する [レベル設定]

各レベル (LV1/LV2/LV3/LV4) で操作できる機能を設定します。

画面1

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、サブメニューの [レベル設定] タブをクリックして、レベル設定画面を表示します。



STEP2

STEP1

各レベルで操作できるように設定したい機能にチェックをいれます。操作できないように設定する場合は空欄のままにします。

各機能の内容については68ページをお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

メモ

- お買い上げ時、各レベルで操作できる機能は次のようになっています。

LV1：本機やカメラの設定などすべての操作ができる本機の管理者

LV2：本機設定の参照、ログの参照、アラーム復帰などができる権限の高いオペレーター

LV3：監視や再生のみ行う一般のオペレーター

LV4：監視のみ行う（再生不可）オペレーター

セットアップメニュー（つづき）

操作の可否を設定できる機能について

レベルによって操作の可否を設定できる機能は以下のとおりです。

機能	説明
設定	セットアップメニューを表示して、一部の設定内容を変更できます（セットアップメニュー [簡単設定] [カメラ] [通信] [ユーザー管理] [メンテナンス] は変更できません）。
簡単設定	セットアップメニュー [簡単設定] の設定内容を変更できます。
カメラ設定	セットアップメニュー [カメラ] の設定内容を変更できます。
通信設定	セットアップメニュー [通信] の設定内容を変更できます。
ユーザー管理設定	セットアップメニュー [ユーザー管理] の設定内容を変更できます。
メンテナンス設定	セットアップメニュー [メンテナンス] の設定内容を変更できます。
カメラ制御	パン・チルトなどカメラの制御が行えます。
障害ログ参照	障害ログ（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））を参照できます。
アクセスログ参照	アクセスログ（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））を参照できます。
イベントログ参照	イベントログ（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））を参照できます。
ネットワークログ参照	ネットワークログ（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））を参照できます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））
エラー復帰	エラー動作を解除できます。（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））
アラーム抑止	アラーム動作を抑止できます。（  取扱説明書 操作編（PDFファイル））
マニュアル録画	マニュアル録画の開始／停止を行えます。
再生	録画した画像を再生できます。
SDメモリー録画	カメラのSDメモリーカードに録画された画像を手動で取得できます。

メモ

- 「簡単設定」「カメラ設定」「通信設定」「ユーザー管理設定」「メンテナンス設定」にチェックを入れると、自動的に「設定」にもチェックが入ります。逆に「設定」にチェックを入れても「簡単設定」「カメラ設定」「通信設定」「ユーザー管理設定」「メンテナンス設定」にはチェックが入りません。

メンテナンスに関する設定 [メンテナンス]

本機のHDDやネットワークの状態を確認したり、HDDに関する設定を行います。
本機のHDDの残容量や本機のネットワークの通信状態などを確認できます。

バージョン情報などを確認する [本体情報]

ソフトウェア、ハードウェアのバージョン情報、MACアドレス、シリアル番号、本体の内部温度、前面パネルのランプ付きHDD運用ボタンの押下回数を表示します。

画面1

[メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [本体情報] タブをクリックして、本体情報画面を表示します。



STEP1

ソフトウェア、ハードウェアのバージョン情報、MACアドレス、シリアル番号、本体の内部温度、前面パネルのランプ付きHDD運用ボタンの押下回数が表示されます。

セットアップメニュー（つづき）

ディスクの残容量を確認する【ディスク情報】

本機の運用モード、内蔵HDDの容量、ライトプロテクトの有無、残容量とアワーメーターを表示します。また、HDDに記録されている画像の日時範囲を確認することもできます。本機の内蔵HDDについて詳しくは、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。

画面1

[メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [ディスク情報] タブをクリックして、ディスク情報画面を表示します。



STEP1

本機の運用モード、内蔵HDDの容量、ライトプロテクトの有無、残容量、アワーメーター、HDDに記録されている画像の日時範囲を表示します。

メモ

- ここで表示されるHDDの残容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDDの容量は少なく表示されます。

本機に設定しているカメラのネットワーク状況を確認する【ネットワーク情報】

本機に設定しているカメラのIPアドレス、ネットワークの通信速度、ログイン中ユーザーを確認します。

画面1

[メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [ネットワーク情報] タブをクリックして、ネットワーク情報画面を表示します。



STEP1

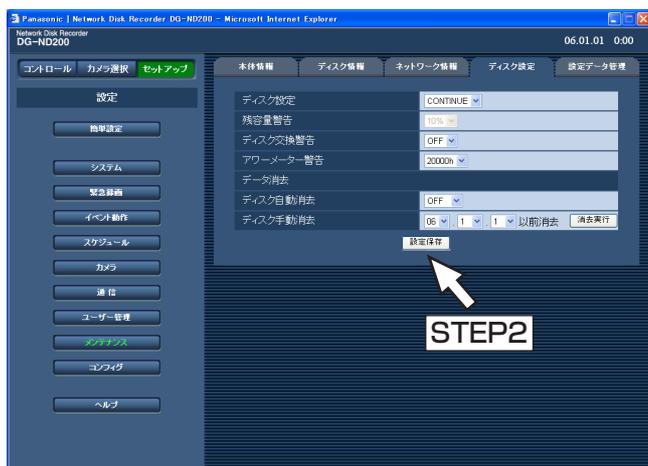
本機に設定しているカメラのIPアドレス、本機のネットワークの通信速度、ログイン中ユーザーを表示します。

ディスクの残容量、画像データに関する動作を設定する [ディスク設定]

本機の内蔵HDDの残容量がなくなったときの動作（上書きする／しない）と画像データに関する動作を設定します。

画面1

[メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [ディスク設定] タブをクリックして、ディスク設定画面を表示します。



STEP1

各項目を設定します。
各項目の設定内容など詳細は以下の「設定項目について」をお読みください。

STEP2

設定したら、[設定保存] ボタンをクリックします。

設定項目について

■ 終端設定

[✓] ボタンをクリックして、HDDの残容量がなくなったときの動作を以下のどちらかに設定します。

CONTINUE : 残容量がなくなると、データの古い順に上書きして新しいデータを保存します。

STOP : 残容量がなくなると、録画を中止します。

お買い上げ時の設定：CONTINUE

■ 残容量警告

[✓] ボタンをクリックして、残容量の警告動作を行う設定値を設定します。設定値は1%～10%まで1%単位で設定できます。また「OFF」に設定すると、警告動作を行いません。

「終端設定」を「CONTINUE」に設定している場合は、グレー表示になり、設定できません。

お買い上げ時の設定：OFF

■ ディスク交換警告

HDD1台ごとに容量が設定した値になったら、HDDの交換を促す警告動作を行うよう設定します。設定値は1%、3%、5%、10%を設定できます。また「OFF」に設定すると、警告動作を行いません。

お買い上げ時の設定：OFF

■ アワーメーター警告設定

HDDのアワーメーター警告を行う時間を設定します。

10000 h / 20000 h / 30000 h

お買い上げ時の設定：20000 h

■ ディスク自動消去

記録されてから設定した日数が経過すると、自動的に画像データを消去するよう設定します。

設定できる日数は以下のとおりです。OFFに設定すると、自動消去を行いません。

OFF / 1日 / 2日 / 3日 / 4日 / 5日 / 6日 / 7日 / 8日 / 9日 / 10日 / 14日 / 30日 / 1か月 / 45日 / 60日 / 90日 / 120日 / 150日 / 180日

お買い上げ時の設定：OFF

■ ディスク手動消去

日付を設定し、設定した日付の前日までにHDDに記録された画像データを消去します。[✓] ボタンをクリックして日付を設定したら、[消去実行] ボタンをクリックします。

セットアップメニュー（つづき）

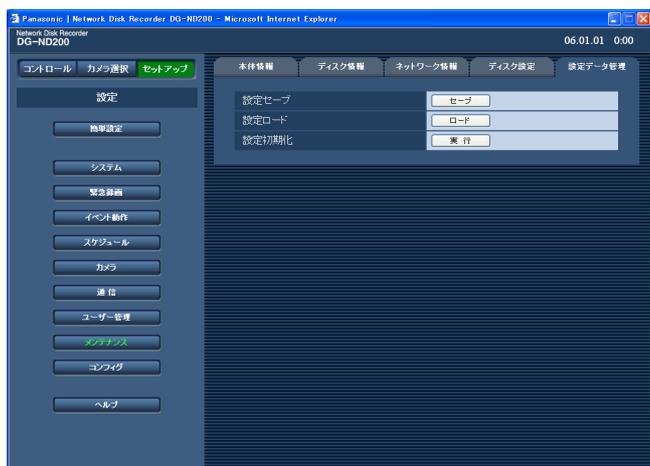
セットアップメニューの設定内容をセーブ／ロード／初期化する【設定データ管理】

セットアップメニューの設定内容を本機にセーブ（保存）したり、保存した設定内容をロード（呼び出し）したりします。

また、このメニューでセットアップメニューの設定内容をお買い上げ時の状態に戻す（初期化）こともできます。

画面1

[メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [設定データ管理] タブをクリックして、設定データ管理画面を表示します。



STEP1

■設定セーブ

セットアップメニューの設定内容を本機にセーブしたい場合は [セーブ] ボタンをクリックします。

■設定ロード

セーブした設定内容をロードしたい場合は、[ロード] ボタンをクリックします。

■設定初期化

セットアップメニューの設定内容を初期化したい場合は [実行] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- 「設定ロード」 / 「設定初期化」を行っても、[通信] - [基本設定] の以下の項目は、ロード / 初期化されません。
 - ・ NWリンク外れ検出
 - ・ 配信量制御
 - ・ HTTPポート番号
 - ・ FTPポート番号
 - ・ ポート設定
 - ・ DNS設定
- 「設定ロード」を行うと、ホスト認証は「OFF」になります。

ディスクコンフィグに関する設定 [コンフィグ]

前面パネルのフォーマットボタンの有効/無効の設定と、HDDのフォーマットを行います。

!!重要!!

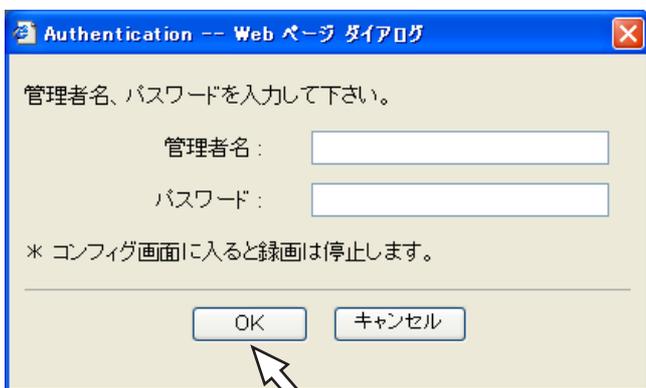
- コンフィグ画面を表示すると、ディスクコンフィグ以外のすべての動作（録画や再生など）は停止します。
- コンフィグ画面では [運用] ボタンをクリックして、操作を終了してください。画面右上にある [×] ボタンをクリックして操作を終了すると、動作が不安定になる場合があります。

本機のフォーマットボタンを有効にするかどうかを設定する

本機の前面カバー内部にあるフォーマットボタンを有効にするかどうかを設定します。

画面1

[コンフィグ] ボタンをクリックすると、認証画面が表示されます。



STEP1

管理者名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

画面2

コンフィグ画面が表示されます。



STEP2

前面パネルのフォーマットボタンを有効にするかどうかをON/OFFで設定します。
お買い上げ時の設定：ON

メモ

- フォーマットボタン有効の設定を変更した場合、[設定保存] ボタンをクリックし、本機に設定を反映させてください。

STEP3

操作画面に戻る場合は [運用] ボタンをクリックします。

セットアップメニュー（つづき）

フォーマットを行う

以下の手順でフォーマットを行います。

画面1

コンフィグ画面を表示します（73ページ）。



STEP1

フォーマットを行いたいHDDにチェックを入れます。

STEP2

設定したら、「フォーマット」ボタンをクリックします。

メモ

- フォーマットボタンは、本機の運用モードにより、フォーマット/ミラーフォーマット/ミラー復旧とボタンの名称が変わります。運用モードの変更については、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。
- HDDをフォーマットすると、録画された画像はすべて消去されます。

画面3

確認画面が表示されます。

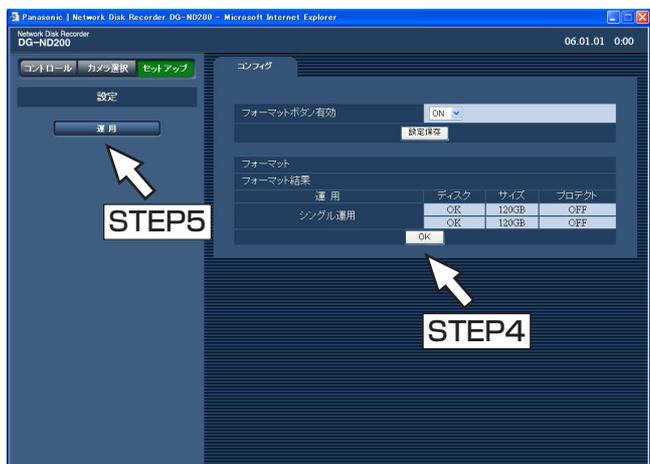


STEP3

OKボタンをクリックします。

画面3

フォーマットが完了すると、結果が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックすると、フォーマット画面に戻ります。

STEP5

操作画面に戻る場合は「運用」ボタンをクリックします。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは設定・工事に関する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ブラウザからアクセスできない</p>	<p>▶ ● ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-TXケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。</p>	-
	<p>▶ ● ネットワークポートの接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。</p>	-
	<p>▶ ● 有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。</p>	28
	<p>▶ ● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 > ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。</p>	-
	<p>▶ ● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。</p>	28
	<p>▶ ● 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。</p>	28

その他

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ブラウザー画面に表示されるボタンがずれて表示される	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのフォント設定を初期設定から変更している場合に、ブラウザーの表示が異常になることがあります。フォント設定は初期設定のままご使用ください。 	-
ブラウザー画面に表示される内容がすべて表示されない	<ul style="list-style-type: none"> F5キーを押すことで再表示を行います。 	-
画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] ボタンを押して、画像を再度取得してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 低い録画レート（1 ips未満）で記録された画像データは更新されない場合があります。 	-
正常な画像でライブ画表示・録画がされない (MPEG-4画像)	<ul style="list-style-type: none"> カメラ動作中に本機を起動した場合や、LANケーブルを接続した場合、直後の最大1分間は正常に画像表示、録画ができないことがあります。 	-
音声は録音されない 音声は正常に再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラの音声の配信が有効になっていますか？ ネットワークカメラの音声のビットレートが「32 Kbps」に設定されていますか？カメラの設定を確認してください。 	-
イベントリストのSDメモリーデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーデータは通常の録画イベントリストや日時検索から再生できません。録画イベント検索から「SDメモリー」で絞り込み後、イベントリストを選択して再生してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーデータの録画時刻は、SDメモリーカードに録画した時点のカメラ側の時刻になります。カメラ側の時刻を確認してください。 	-

その他

症 状

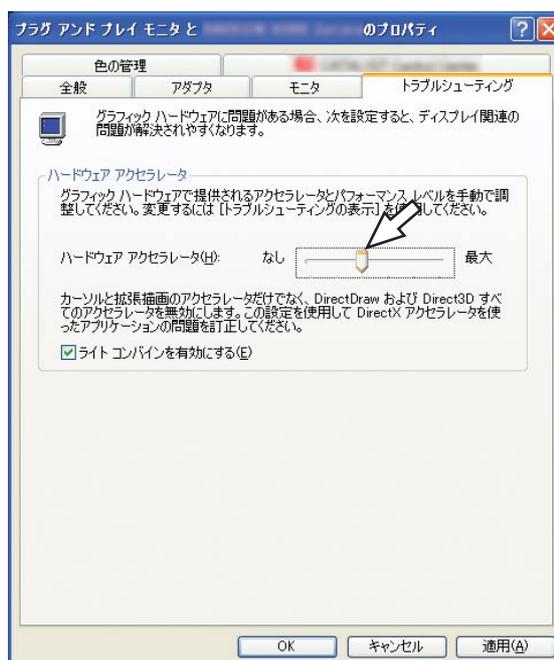
SDメモリーデータが再生できない

MPEG-4画像を多画面表示したとき、または拡大表示したとき、1つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り替わり表示される

原因・対策

- 録画されている画像枚数が少ない場合、正常に再生されないことがあります。その場合は、コマ送り／逆コマ送りで画像を表示してください。

- PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows XPを例に説明します。
 - (1) すべてのブラウザを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。
 - (2) 画面のプロパティ画面で「設定」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリックします。
 - (3) 「トラブルシューティング」タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。



参照ページ

—

—

その他

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
基本操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	<ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ユーザー名、パスワードを確認してください。 	64
ビューワソフトで音声再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 画像データ（ファイル名.n3r）と音声データ（ファイル名.n3a）を同じフォルダーに入れていませんか？データの格納先を確認してください。 	取扱説明書 操作編 49
画面に「しばらくお待ちください」が表示されたままになる	<ul style="list-style-type: none"> ActiveXコントロールがインストールされていません。ActiveXコントロールをインストールしてください。 	80
ライブ画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラが設定されていますか？セットアップメニュー [カメラ] - [NWカメラ設定] の設定を確認してください。 	46
	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [スケジュール] - [プログラム] - [ライブ配信] が正しく設定されていますか？設定を確認してください。 	39
	<ul style="list-style-type: none"> 接続するカメラと本機のネットワーク設定が正しくされていますか？本機とネットワークカメラのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート番号を確認してください。 	46、52
	<ul style="list-style-type: none"> カメラの圧縮方式をM-JPEGに設定している時に、本機のセットアップメニューの設定保存操作またはプログラム設定の測定操作を連続して行っていると、数分間ライブ画像が黒画になり、録画されないことがあります。その場合は、約10分間、お待ちください。 	-

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ● HDDが正しく挿入されていますか？ ● 正しくフォーマットしましたか？ ● ライトプロテクトされていませんか？ ● ディスクの内容を確認してください。ディスクの内容は以下で確認できます。 セットアップメニュー [メンテナンス] - [ディスク情報] 	69
ライブ画像・再生画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● Windowsの制限付きアカウントのユーザーでログインしている場合、ActiveXコントロールが正常にインストールされないため、映像が表示されません。PCの管理者権限アカウントのユーザーでログインしてください。 	-
ライブ画像の更新が不安定	<ul style="list-style-type: none"> ● 圧縮方式の異なるカメラを混在させた場合、性能が低下（画像の更新が不安定）することがあります。 	-
ブラウザの接続が切断される	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク回線および本機のネットワーク性能限界以上の設定がされている可能性があります。ライブ配信レート・録画レートの値を小さくするなど、ネットワーク性能に関する設定値を小さくしてください。 	39
ネットワークのパフォーマンスが出ない		
ダウンロードした画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。HUBの通信速度状態および本機のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。（すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度を「100-FULL」に設定することを推奨します。） 	-
画像が正しく表示・録画・再生されない		

その他

故障かな!?(つづき)

症 状	対応方法	参照ページ
<p>カメラが操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラが正しく設定されていますか？ セットアップメニュー [カメラ] - [NWカメラ設定] の設定で設定しているカメラの品番が正しいか確認してください。 	<p>46</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラのユーザー名、パスワードが設定されていますか？ セットアップメニュー [カメラ] - [NWカメラ設定] のユーザー名、パスワードが入力してあるか確認してください。 	<p>48</p>
<p>前面パネルからフォーマットできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> フォーマットボタン有効の設定がOFFになっていませんか？ セットアップメニュー [コンフィグ] のフォーマットボタン有効ボタンの設定を確認してください。 	<p>73</p>

その他

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症 状	対応方法	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	-
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.'からの'wvasetup.exeインストールするには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	-
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorerの [ツール(T)] - [インターネットオプション(O)] - [セキュリティ] タブ - [レベルのカスタマイズ(C)] でセキュリティの設定画面を開きます。「その他」 - 「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	-
<p>ブラウザから音声ファイルをダウンロードしようとしたとき、ポップアップが表示されダウンロードできない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorerの [ツール(T)] - [インターネットオプション(O)] - [セキュリティ] タブ - [レベルのカスタマイズ(C)] でセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」 - 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	-

松下電器産業株式会社

パナソニック システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410